人間では

本立ちしたが、

私は十二年前に五十八歳で退社、

物書きとして

外側から見るようになってしまった。従って皆様

なくてジャーナリズムの世界をだんだん

十二年間たってみると、

内側の

リストの端くれだった人間が申すことということ

言うとお感じになるかもしれない ってもいいぞということだった。

でご容赦願いたい。

あろうかと思うが、

そういうリクエストだったの

ん、八っさんみたいな視点でものを見ている面も

前にこうやって立っている私は、

その辺の熊さ

うタイトルで、

Ħ

現代日本の病とジャーナリズム」とい

ジャーナリズム批判をバンバンや

生意気なことを

元ジャーナ



毎月一回一日発行 昭和40年2月20日 三種郵便物認可

発行所 新聞通信調査会 電話 03(3593)1081

(特別講演会)

新聞はもっと自己主張を 現代日本の病とジャーナリズムに思う

元日本経済新聞社論説主幹



で遠慮なく話をさせていただく。

ごう慢さ目立つジャーナリズム

とか ズムというのはテレビも入るが、 書いた中で最も反響が大きかったの 月に三回ぐらいの割合で書いている。過去に私が の共同ブログで新聞案内人というエッセーを二カ ヤスター ムはごう慢になっている。 いう言葉」という題のエッセーだ。 国民は」 結論を先に申し上げると、 あらたにす」という『朝日』『読売』 「国民には見えてこない」とか、 は という言葉を使う。 「国民に説明をしなければならない この場合、 現代のジャー 例えばテレビのキ 極めて安易に は、 ジャーナリ 「国民」を 同 日 「国民と ・ナリズ 経

http://www.chosakai.gr.jp/

[『]テレグラフ』紙、

議会のタブーに挑戦

恭子…

現代日本の病とジャーナリズムに思う

目

次

(十二月号

Ŕ 連発する。 ②加速する米紙の販売不振 170社が参加して世界メディアサミット 調査会だより … ①オンライン新聞に有料化の流れ 在京TV、全5社とも減収―9月中間期 会見開放と記者クラブ・・・ ボスニアの墓標街道を行く 海外情報 放送時評 (メディア談話室) 日米同盟_ 例えば 「メディア激震=古賀純一郎」 テレビのみならず新聞の社説に 『中華新聞報』 「国民への背信であろう」 再構築の道 の廃刊 金山 Ц П 前 音 池 藤 田 田 田 とか 博司: 英彦 龍夫: 宏: 光:: 博:: お 謝 11 15 12 28 25 24 11 22 20 18

そんな多種多様な人たちを国民という言葉でひと の編集局のデスクに座っている人たちも国民だ。 傍らにいる住民も国民。 ントの中で暮らしている人も国民。 ろいろな国民があり、 すべき相手は国民ではないか」。 人間も国民、 では一体、 上野の森で青いビニールシートのテ 国民 って誰だ。 六本木ヒルズに住んでいる もちろん新聞 国民には 沖縄の 社や通信社 を基地の 実に

ているわけだ。
あいう国民という言葉は一種の「葵の御紋」になった。国民という言葉は一種の「葵の御紋」にないましているかのようなごう慢さがあるのではないういう国民の使い方は、あたかも自分が国民を代くくりにして「国民は怒っているぞ」という、そくくりにして「国民は怒っているぞ」という、そ

ときには「という」も必要だ。いう表現。どうしても「という」表現を使わざるいう表現。どうしても「という」表現を使わざるいと方表現。どうしても「という」表現を使わざるときには「という」も必要だ。

実は八月二十五日から三十一日までの一週間、 実は八月二十五日から三十一日までの一週間、 実は八月二十五日から三十一日までの一週間、 実は八月二十五日から三十一日までの一週間、 実は八月二十五日から三十一日までの一週間、

回あった。一週間の新聞に百五十七回。に五回、「という」という言葉が使われている記事もあった。皆さんはどれぐらいだと感じるか分からないが、私は非常に多いと思った。一本の記事の中で、一週間で何本ぐらいあるか。一本の記事

ジャーナリズムのシニシズム

こういったことにも表れているように、私は現

いるのではないか。 に立って考えるという作業を怠っているの立場に立って考えるという作業を怠っているのではないか。「国民」という言葉をあたかも自分ではないか。「国民」という言葉をあたかも自分ではないか。

たくさんあるが、二つ申し上げる。考え方であろうかと思う。これについての意見はずれ回復する。もっと問題なのは、社会のもののがっているなんてことは大した問題ではない。い今の日本の病はどこにあるか。経済がおかしく

かいう一種のシニシズムに陥っている。ちょっと気の利いたことで斜めに切ってみようとが公論を立てることについて、かっこ悪いとか、公に対する認識が薄れている。ジャーナリズムは、一つは功利主義に傾いているのではないか。

とをちゃんと主張することを怠っている。う言葉に隠れ、自分が何を考えているかというこているわけだが、日本の新聞は「客観報道」といら始まって、自己主張するということから出発しら始まって、自己主張するということから出発し

が、『読売新聞』が提案型の記事を最近、盛んにかと思っているのは「あらたにす」にも書いたがと思っているのは「あらたにす」にも書いたがと思っているのは自分がかわいいのだよ」という功人間というのは自分がかわいいのだよ」という功人ではないか。そういう中で評価していいのではないが、『読売新聞』が提案型の記事を最近、盛んにがというのは自分がかわいいのだよ」という功人間というのは自分がかわいいのだよ」という功人に表示している。

始めていることだ。

今年の初め、『日本経済新聞』も年金について今年の初め、『日本経済新聞』も年金について自分の新聞としてはどう考えるという提案を出した。の新聞としてはどう考えるという提案を出した。のがは、どういうふうに制度を改革したのがということを提案した。これは大いに評価をした。

権力依存の情報収集

うものを示すことができな 査、分析したデータ、それに基づく分析結果と 対抗することのできるしっかりとした情報と調 い」というようなことを書くだけで、 た点は評価できる」「こういった点は評価 いう答申が出たりすると、専門記者は などになって、これは役人の隠れみのだが、そう 分析力に依存している。 力を持っていないこと。 新聞記者が決定的に弱いのは自社 どうしても役 従って審議会のメンバー の情 彼ら官僚に 人の 情報と できな

証できず、すぐ役人に負けてしまう。 実行可能かどうかということについてなかなか立いろ構想として出したとしても、それが法律的に弱いところは法務知識が薄い。結構なことをいろ

というだけの、かつての社会党みたいなもので、ころ、「お前さんのやっていることはおかしいよ」えていなければできない。さもなければ結局のとを発揮するためには、自前のデータと分析力を備新聞が本当に権力を是々非々でチェックする力

痛くもかゆくもない。 反対しているだけ。そんなものは役人も政治家も

待ち受ける規制強化

同作業が行われているのではないかと思われるほ 必ずできるのは役所のチェック機能の強化だ。 スコミと役人との間で目に見えない形の、一種共 心シメシメと思っているのではないか。その後に なことを起こしたのだ、 る大変危険な状況にあるのではない 的 歌しているように見えながら、 な物差しにみんながどんどんはまっていってい えば金融庁の規制。 規制が強まっている。 つの 当事者は頭を下げるが、 新聞、 が病は画 テレビは一斉に、どうしてこん けしからんということで 皆さんご承知だと思う 現代社会は自由を謳 目に見えない画一 役人は多分、 か。 何か事件 内 マ

熱弁を振るう水木楊氏

ど大変な規制が網の目のごとく広がっている。 書類の量はものすごく増えている。 984年』) と、人事の任期まで調べてくる。 する建築の規制はすごい。 歯事件以降、 つての銀行局はしなかった。 がそのポストに三年以上就いているのはおかしい 関の倉庫にある絵画の時価まで調べる。この 人は、「トラック一台分でも足りない」というほ 本当にすごい。ジョージ・オーウェルの世界(『1 しなことが起きるという認識だ。そんなことはか 規制というのは当然のことながら画一性だ。 かつての銀行局 じゃないかと思われるほどすごい。 新しいものを作ろうということに対 の比どころじゃない。 そろえなきゃならな 今の金融庁の介入は 長くなるとおか 大げさにいう 金融 人間 姉

時、 ということを知らせない。 試験をして平均点で学校ごとにランキングする。 数を良くするために今中学校で何が起きている が下から数えて三番から六番に上がったら、どこ か六番に上がって良かった」。バカなことをいう 学力テストで大阪は尻から三番目だったのが五番 は結構面白い知事だと私は思っていたが、 都道府県別でもランキングする。 かが三番に下がったわけだ。 画 不登校の生 四十三年ぶりに全国学力テストが復活した。 一性の一番典型的な例は教育だ。安倍政権の そんなことまで始まっている。 あれでがっかりしたが、 一徒を試験のとき呼ばない。 出て来たら平均点が この学力テストで点 大阪の橋下知事 自分のところ 試験だ 「全国

聞記者もマニュアル頼り

もしれない。 とはない。 を繰り返した末に、 かもしれない。正解が欲しくて一人ひとりが努力 た子どもが優秀だと見なされる。 人共通の正解なんかない。 大人が用意した正解が紙の後ろに存 世の中のいろんな事象、 ひょっとしたら正解はないか よりたくさん引 一人ひとり正解が違う そんなバ 出来事には万 、カなこ ŋ L 出 7

方に暮れる。
「知らざるを知る、是知るなり」ということを「知らざるを知る、是知るなり」というないを決しているから、今までお目に掛かったことのない事態に直面すると途知る。そういう作業はネグレクトされてしまう。

不況なんか問題じゃないと申し上げたが、最も 不況なんか問題じゃないと申し上げたが、最も 不況なんか問題じゃないとし上げたが、最も 不況なんか問題じゃないという決まった模型の という解答を見いだすということなら結構みんな という解答を見いだすということなら結構みんな という解答を見いだすということなら結構みんな という解答を見いだすということなら結構みんな という解答を見いだすということなら に、自分の頭で考えることを怠ってきた人間はみ に、自分の頭で考えることを怠ってきた人間はみ に、自分の頭で考えることを怠ってきた人間はみ に、自分の頭で考えることを怠ってきた人間はみ に、自分の頭で考えることを怠ってきた人間はみ に、自分の頭で考えることを怠ってきた人間はみ

昔を懐かしむつもりはないけれど、先輩が「こう「マニュアルないですか」。ばかなことを言うな。という人間ですら、記者クラブに配置されると新聞社の話でいうと、ジャーナリストになろう

して」と言 ったら、 かえって逆のことをやったも

られる。 る。全然意見を言わない。 何ですか」と聞かれてがっくりきた、と書いてお わったら堀田さんのところへ来て「先生、正解は ったら、 な英語で「アイ 本の青年はその議論の間シーンとして黙ってい のテーマについてがんがん議論する。ところが日 るが、その間シンポジウムをやる。 口 船」でいろんな国の青年を集めて航海してい 飯のときはペラペラしゃべっている。終 日本の青年たちは英語を話せないかとい 件で名をはせた堀田力さんは シンク」とか言ってちゃんと主 他の国の人たちは下手 みんなで一つ

聞き、そしてまた「どうして」に帰っていく。 には「どうして」が実にたくさんあって、どうし てということを探り、 て」と思うことから始まる。 知識というのは学問の それが知識だ。 「どうして」の繰り返しの中で積み上げら 知識とは何か、 時には本も読み先輩の話も 問一、 われわれの身の回 素朴に「どうし 別の言い方

衰えた判断力

をするなら、自分仕様のデータのことだ。

て東大法学部の役割は終わったということを書い 本を書いたのかと言われたが、こん身の力を込め 優秀なる官僚をたくさん送り出す役割を担 身の友達がたくさんいて、 『東大法学部 という本を書いた。 何であんな変な 東大法

た存在意義は終わったということだ

うのが、ほとんどなくなってしまった。 として、良い人物論が消えてしまったこと。新し か、人物紹介のコラムはあるが、いい人物論とい いポストに就いた人とか優勝したサッカー監督と て、それがジャーナリズムにも反映している一つ 現代の画 一性の最も大きな問題は教育にあ

ければならない。しかし、 ら、自分の物差しで人物を見る。 けれども、結局、物差しがなくなっ た。その後も幾つか人物論のいいコラムはあった の清水昆さんのマンガと人物論は非常に面白かっ マすり記事になってしまう。 全部けなしては取り上げる意味がない。 新聞記者にとって最も難しい記事は人物論だ。 評価してばかりではゴ 戦後、 『朝日新聞』 たものだか 評価しな

を書く羽目になりかねない。 いる弊害が表れてきているのではないかと思う。 としないで、 てはいい人物論が消えたことの中にも、 るかなということを認識しなければ間違った原稿 で、この人が言っていることはうそかな、 ことよりも人間を見分けることだ。 な、この人の言っていることはどれだけ重みがあ 新聞記者の最も大事な資質は、いい文章を書く ジャーナリストが自分自身の物差しを持とう 他人の物差しで仕事をしようとして そういう意味におい 当たり前の話 新聞記 本当か

者クラブ制度の是非

に避けては通れないテーマがある。 一然のことながら、 ジャー ナリズムを考える時 それは記者ク

当

せるわけにはいかない ラブの存在だ。それ抜きにして、 の話を終 わら

単に右から左へ情報を流すから「ポーター」だと てしまう。 言う人もいる。 こういう記者を「リポーター」とはいわなくて、 右から左へ記事にしている傾向が生じかねない。 ットを先に申し上げると、 メリット、デメリット 取材対象からもらう情報に依存して、 下手をするとポー 両方あると思う。 ろくな取 ・ター 材もしな 現象が デ

なってしまう。 じゃあるまいか、 取材対象と同じになってしまう。 もう一つはさっきの物差しと同じで、 というような原稿を書くように スポークスマン 価 値

によって、自分たちの知らせたいことが効率的に 知らせたいというとき一人ひとりのところへ持っ 持っていく。役所でもそうだ。 を考えればいい。市民団体がいろんな活動をして ことは紛れもない事実だ。 世の中に流れていく。そういう役割を担っている ていくわけにはいかない。ここに窓口があること いるときに、それを訴える場合、 メリットもある。これは無くなった場合のこと これを世間に広く 都庁のクラブへ

もたくさんい 現役のころ、 分の社だけではない他社の先輩からも学ぶ。 あるわけだから、 記者クラブは新聞記事を書くという生産 た。 あんな記者になりたいなと思う記者 先輩のやり方を若い記者が、 つまり先輩の記者から学ぶ生産 私も 自

シントンにいたが、 うことは には簡単には入れてくれない。 が 判する外国のメディア、 3場でもあるというメリットも当然あると思う。 無いとは言えないが、じゃあアメリカはそうい 者クラブというのは、 判する人たちがいる。 のか。 ホワイトハウスの記者クラブ そんなことはない。 日本人の中にも閉鎖的で 日本独特のものだと批 確かに閉鎖的な面 国務省、 国防省も 私は、ワ



質疑応答も活発に

方は一面的ではないか。 味においては、日本だけが閉鎖的であるという見 そうだ。そんな簡単なものじゃない。 そういう意

H

少ない署名記事

とによって、ああいう記者になりたいなと、 事が増えるべきだと思う。 れてくるのではないか。 は署名記事を増やすことによって、 なってしまう、癒着する。 しまう、右から左に原稿を流すただのポーターに 人たちがその新聞社に入ってくることにもなるだ いう意味においてもいいし、 それとかなり関係することだが、 記者クラブの取材対象と価値観が一緒になって 匿名性の中に隠れるのはいかがなものか。 そういったような問題 文責を明らかにすると 署名記事を増やすこ かなり解消さ もっと署名記 若

る。 で、 ものを売っているというか、 現象。百貨店は今、一種の不動産屋みたいなもの か な新聞記者の署名記事を見ており、 現象も起きてくるかもしれない。 リスト自身がいろんなところへ移っていくという 付いてきたような事態のときには、 の記者に目に見えない形のマーケットプライスが た記者を自社に持ってくる、 既に『産経新聞』はやっているが、 空間を生かして名店街でいろんなメーカーの ゆくゆくは署名記事が増えてきて、 じ あ読もうと決めている記者も何人 いわば新聞社 売り場を提供してい 私自身もいろん そのジャーナ 後ろの署名を 他社 それぞれ 百貨店 の優 n

> る。 署名記事を増やす方向で、 長や編集委員の似顔絵入りでコラムを書かせてい 新聞』だ。 この点で最初にやったのは 面白いと思う 『読売新聞』 『読売新 産 b 経新聞 聞 朝日 などは部 新 聞 か b

新聞の将来を左右する専門記者

どうなるのかということだ。 新聞社百貨店現象と同じだが、 署名記事の問題と同時にもう一つ大事なの 新聞の将来は一体 は、

を抱えているかということ。 だろう。大事なことは、 なことはどれだけ優秀な報道陣、 経営にとって大事なことだろうが、 ディアで伝えるかということではない。 いないが、 紙の新聞そのものは簡単になくなるとは 仮になくなったとしても新聞社は残る その情報をどのようなメ ジャーナリスト 究極的に大事 もちろん 思って

そういう人たちがどれだけたくさんいるかによっ 他の形であろうが、いろんな変化がこれから起き に電子メディアであろうが、 づいて分析する力、そういうものは他 それをきっちりと、 てくるだろう。しかし、 ねできるわけがない。それが伝えられるものが仮 インターネットの時代になったとしてもそう そこで非常に大事なのは、 その会社の存在価値は決まってくるだろう。 いろいろな情報をたくさん集める力と同時に そのコンテンツを取材し記事にする。 それぞれの記者の物差しに基 最も大事なのはコンテン 狭い視野にとらわれ 紙であろうが、 の人間がま その

ズムに陥っていたところがある。いなことを言いながら、実は一種のアマチュアリルクル回していたが、ゼネラリストを育てるみただ。今までの新聞社の人事は三年置きぐらいにクないという条件を備えた上での専門記者の育成

求められる多様性

昭和三十年、保守合同を導いた謀将がいた。自昭和三十年、保守合同を導いた謀将がいた。自た対する度量を失いつつある社会ではないか。最後に、これからの日本はと思っている。多様性こそに対する度量を失いつつある社会ではないか。異端者をに対する度量を失いつつある社会ではないか。最後に、これからの日本はどのような姿になっ

の政敵が 武吉はすっくと立って答えた。「あそこに座って たたちは選良として選ぶのか」と批判した。三木 は妾が三人もいる。 ら保守合同に導いていった。 由党の大野伴睦と手を握り、 いる人は天下の大うそつきである。 っちに三木武吉がいて、 のころは公開討論会があって、 て選ぶのか。 「あそこに座っている三木という政治家 そういう汚れた政治家をあな なぜなら私には妾が三人で 反対側に政敵がいる。そ それが三木武吉だ。 権謀術数を用いなが 選挙のときこ 大うそつきを

して最も優れた人間だと思っている存在が松永安もう一つ、日本の財界人の中で戦中、戦後を通

ていた。 なった。今日こうして電気がついている。 いうのは悪口だったが、 で今日の電気がある。 滝沢修が悪者、 連の奥むめおさんを先頭に、しゃもじが立った。 気力料金を七割値上げした、 めには電力の再建が絶対必要だ、ということで電 を受けながら実行した。のみならず日本の再建た 体制を、 左エ門だ。 た。それほど悪口を言われた男だが、 与野党はもちろん新聞から何から猛反対 「電力の鬼」と言わ 松永安左エ門に扮して劇までやっ 原子力にも早くから着目し いつの間にか褒め 七割だ。それで主婦 彼のおかげ 当 時、 九電力 言葉に

にある。

こういうようなことは今の日本では全く考えられない。私は妾を持てと言っているわけじゃない。今の日本、一つの表れとして、つまらないことをクチャクチャたたき合って、重箱の隅をほじい。今の日本、一つの表れとして、つまらないここういうようなことは今の日本では全く考えらにある。

と同時に官僚批判をするけれども、「振り返っ

現象が起きていないのか、と問いたい。てみろ」と言いたい。自分自身の会社では官

(端を生かす社会に

とか何とかいって引きずり下ろす。 これをやっちゃいけない。 きていないだろうか。あ 官僚化していて、異端を排除する。 ると、「あいつは変わっているね」「 の網目が広がってちょっとでも変わったことをや かもしれないが、テレビも一 大企業も新聞社も通信社もといったら れをやっちゃ 目に見えない自己規制 種の官僚化現象が 世 癖 の中全体 があるね」 一怒ら けない、 起

という一言でふるいに掛けてしまうことは 変わっているか、の方が大事だ。 社会はおおらかな社会だったはずだ。 方がいいのではないか。もっともっと日本という ことは、いいことなのかもしれない。 わないようにしよう。異端を排除するときは 「あいつは変わっているね」。 あいつは変わっているね」という言葉を一 提案したいのは異端を認めること。 変わっているという 変わっているね どのように あ やめ す 切 か 使

とがあったら足を引っ張る。そういうことはやめ 出しようじゃないか、と言いたい。 だったはずだ。けた外れ、型破りの男をもっと輩 に行われた特別講演会の けて報道してほしいというのが私の希望であ て、 本稿は、 もっといろんなことを自由にやるおおら もっと堂々と公論を張り、 事 通 部を要約した ホールで十月 個々の本質を見分 つまらないこ かな H

オン ライン 紙媒体は存続の危機に `新聞 に有 化 0 流

存続の危機に陥るような事態となった。 で提供し、読者も広告主も急速に印刷新聞から離 ンライン新聞は れていった。既存新聞は収入を得るすべを失い、 布費用も不要というメリットを武器に情報を無料 -から電 インタ 既存の印刷新聞を侵食し始めた。 インターネット上に割り当てられたサイ 子的に情報を発信するオンライン新聞 上にインクで情報を印刷する既 ネット 紙もインクも、 の世界的普及とともに、 印刷コストも、 存の技術 この 新聞界 配 オ が

下の 自のオンライン版を創刊して、 始まった。 る計画を表明し、 ところが二〇〇九年に入ってから、既存新聞 世界のメディア王、 高級日曜新聞 のオンライン新聞を有料に切り替える動きが ートナー た。それ イギリスでは最初の動きとして同年六 の日刊新聞のオンライン 通常の関係であった。 オンライン まで日 『サンデー・タイムズ』が、 ルパート・マードック傘 曜 新聞有料化の火付け これを有料制とす 聞 のオンライン版 、版に取 独 'n が

ライオネ 後 ___ フィ バ ナンシャル・タイムズ』 が 七月中 旬、 新聞関係者を 0 い編集長

> 度内に有料化すると決定し、 機関は、一年以内にオンラインのニュ ンライン新聞を、今年から来年にかけての会計年 大発行部数の日曜新聞 イムズ』、イギリスの代表的大衆紙 の確立に踏み出すことが必須」と指摘した。 であれ「課金することができるオンラインモデル 考え直す必要がある」と強調し、 にするだろう」と述べた。 ールド』のオンライン版など、 続いてマードックは八月に、 ナリズムを支えてきたビジネスモデルを過激に 象にした講演 「ほとんどす 『ニューズ・オブ・ザ・ワ そして「これ オンライン新聞有料 世界的高級紙 傘下のすべてのオ べてのニュ どのような方式 『サン』や最 1 までジャ スを有料 1 **「**タ

ガロ、fr』を有料化すると表明した。 が二〇一〇年までに、 まった。 イギリスのみならず他の国でも同様な動きが フランスでは代表的高級紙 同紙のオンライン版 『フィガロ』 **『**フィ 始

くるだろう」と予言した。

成功したなら、

他のメディアもすぐに後を追って

ていくリスクに挑戦したいと述べ、「もしこれが ィア業界を「ペイ・パー・ビュー」モデルに導 化の流れを決定付けた。

マードックはまた、メデ

11

ミヒャエル・デプフナーが、 有料化の波が広がって スモデルと評価、 ネットシステムを利益を生む見込みの高いビジネ 「アクセル・シュプリンガー」の最高経営責任者 さらにドイツでは、 オンライン新聞の分野を超えて いく可 同国最大の新聞グル モバイルのインター 能性を示唆した。 1 プ

> ジタル部門で構成する た。 シエーテッド・ニューズペーパーズ」「テレグラ ている段階だと答えたにすぎなかっ は、この調査への回答者は、 ているか、採用を計画中であることを明ら ディアの発行企業の約70%が既に有料制を採用し 会」(AOP) イムズ』などを含むイギリスの新聞二十八社のデ フ・メディア・ インターナショナル」「トリニティミラー」|アソ こうした経緯の後、 広告の激減がメディアを襲う前 テレビの全分野にわたるデジタルメ の年次調査が〇九年十月 グル ープ」『フィナンシャル マードックの 「オンライン新聞発行者協 46%が有料 の〇七 時点で、 1

に見える。 ィア界の主要な流れとして定着してしまったよう こうしてオンラインメディアの有料 化は、 メデ

おり、 ツイッター、 速報などの情報をツイッターを経由 ワークシステムを形成しつつあることを明らかに のソーシャル ・チューブを利用しているという。 !の変容が単なる有料制への移行にとどまらず、 その上この それによるとAOPのメンバーは、 48%がフェースブックを中継 フェースブック、 ノメディ 調査は、 アと連動して、 現 在進行中のオンライン新 ユー 新たなネット して発信して チューブなど 57 % が % が

新聞は果たして、 どこまで対応していくのであろうか 限りないメディア 0)

英彦=東洋大学名誉教授)

る可能性

の経費乱用が明るみに

紙、 議会のタブ 挑

(在英ジャーナリスト)

が明るみに出た。 払いを請求したり、 を悪用して、 し、その売却益で私腹を肥やしたりしている実態 今年五月上旬、 が下院議員の経費超過請求にかかわるスクー を開 .始した。 「別宅手当」と呼ばれる制度 完済している住宅ローンの金利の支 英高級紙 経費を使って家を改修後売却 『デーリー・テレグラ

明けには 任の意向を表明せざるを得なくなった。 した。報道開始から二週間後、 は怒り、落胆した。『テレグラフ』紙は姉妹紙の ゚サンデー・テレグラフ』と共に連続三十五日間、 面トッ 税金を私利私欲に使う情けない議員 プで経費問題を扱い、 も出ている 一部議員が窃盗・詐欺法違反で起訴され (十一月二十三日時点)。 下院議長までも辞 複数の閣僚が辞任 の姿に国 年内か年 民

ディアンとニューズ社対決の構図」 出版され 同紙による議員経費報道については、 (「どんな経費も逃さない 話盗聴疑惑、 映 をつづ 『テレグラフ』 画化も予定されてい 英新聞界を揺るがす~ガー た著 担当記者による、 作 ¶No Expenses で短く紹介し 0) 意味) 本誌九月 報 が

> て、 る______ 活を思わせた。「ネットはあくまでツー 連の報道は、昔ながらの新聞ジャーナリズムの復 ム大賞の受賞が予想される同紙報道の経緯とその 本稿では今年、英国のさまざまなジャー ドラマ化されても不思議はないほど迫力ある一 最後は独自のジャーナリズムが決め 一筆者にそんな思いを抱かせた。 ルであっ の手とな ・ナリズ

別宅手当」とは

影響に改めて注目した。

方税、 か、 として支給され、住宅ローンの金利や賃貸料、 住居が必要となる。 るロンドンから遠い場所を選挙区とする下院議員 手当」)であることにご留意願いたい。 なしで請求できる金額は昨年までは最大で二百 は議会開会中、ロンドン近辺のホテル は主に「別宅手当」(通称、正式には「追加費 は年間約二万四 話を始める前に、ここで問題にする 議員の申請で支払額が決まる。 選挙区にある自宅とは別に「別宅」としての (現在は二十五ぱ) 家具代、 光熱費ほ 別宅維持にかかる費用は手当 約 で、 三百五十万円)。 か必要経費が対象とな 食費も毎月最 請求最大金額 「経費」と 議会が に泊まる 領収書 大四 地 あ 甪

ポッまで請求可

すい仕組みになっていたともい 費を負担するために使える。 別宅の区別を変更しても構わない。 を別宅として申請 方が通常は本宅となる。 すれば、別宅手当を本宅での経 区別は年間で宿泊 別宅手当 また仮に本宅 日数 回 乱 0

情報公開に向けての戦い

む米国人ジャー けだった。米国で調査報道にかかわった同氏 が、下院に対し議員の経費情報の公開 は入手できないことを知り、 国民に選ばれた議員にかかわる公的情報が簡 立ち上がったのは、二○○四年だ。 員経費の情報公開を求めてジャーナリストたちが ゚゚テレグラフ』 別宅手当の総額と使途の要約が取得でき ナリストのヘザー・ 報道につながる動きとして、 がくぜんとした。 ロンドンに住 ブル を求 ック氏

開を国 報コミッショナー」 刊紙『イブニング・スタンダード』の記者らも数 絶されてい は費用がかかり過ぎる」として拒絶された。 経費情報の公開を要求したところ、「公開実行に た。ブルック氏はこれを利用して下院議員全員の 人の議員の経費情報の公開を要求し、 同年、 翌年、政府省庁や公的機関にかかわる情報 民が要求できる情報公開法が施行とな 以日曜紙 公開 ブルック氏を含むジャー を進めるために設置された「情 0) 『サンデー・タイムズ』や夕 事 務所に事 情を訴え、 いずれも拒 ナリスト コミ の公

争いは裁判ざたにまで発展した。ものの、下院側がこれを拒否、情報公開をめぐるッショナーは「情報公開すべきだ」と結論付けた

新な出るようになった。 一段では裁判ざたにまで発展した。 手余曲折の後、今年一月には、すべての下院議 では、大手媒体の買い手を求めているというう が出し、大手媒体の買い手を求めているというう が出し、大手媒体の買い手を求めているというう が出るようになった。『テレグラフ』が経費 をでいるというう がお出るようになった。『テレグラフ』が経費 できたのは、このディス クを入手したからだった。

秘密のディスク

類が保管されていた。

三月末、『テレグラフ』紙の政治記者がPRコ三月末、『テレグラフ』紙の政治記者がPRコ三月末、『テレグラフ』紙の政治記者がPRコ三月末、『テレグラフ』紙の政治記者がPRコ三月末、『テレグラフ』紙の政治記者がPRコ

『No Expenses Spared』によれば、下院内では、『No Expenses Spared』によれば、下院内では、の個人情報や外に出せない情報を「編集する」の個人情報や外に出せない情報を「編集する」が漏れないよう、英軍兵士たちに入り口を警備さが漏れないよう、英軍兵士たちに入り口を警備させていた。

兵士たちは○三年のイラク戦争に派遣された経 兵士たちは○三年のイラク戦争に派遣された経 大と兵士たちは感じていた。今度はアフガニスタ たと兵士たちは感じていた。今度はアフガニスタ たと兵士たちは感じていた。今度はアフガニスタ で購入するには低い給与では不可能で、アルバイトをして追加収入を稼がざるを得なかった。 てで作業所で警備員として働くことになったのだった。

になっている。 兵士たちの悔しがりぶりや、黒塗り作業をした になっている。 原した人物の名前を著作は明らかにしていないが、作業にかかわった人物の中のある男性が、英 が、作業にかかわった人物の中のある男性が、英 は、これを元とれている状況と議員の経費乱用ぶりに義

「小切手ジャーナリズム」の是非

為は常習化しているようだ。しかし、高級紙は少得は常習化しているようだ。しかし、高級紙は少いに、一万度でを支払ってほしい」でった。大衆紙して十一万度を支払ってほしい」だった。大衆紙員を対象にして報道してほしい」でった。大衆紙員の条件は「一部の議員だけでなく、すべての議員の条件は「一部の議員だけでなく、すべての議員がディスクを『テレグラフ』に託した元SAS隊

を含め、経営陣も最終的に承諾した。 に不可能と思ったが、ウィリアム・ルイス編集長 は不可能と思ったが、ウィリアム・ルイス編集長 は不可能と思ったが、ウィリアム・ルイス編集長

四月末、ライバル紙に情報が漏れるのを防ぐた 四月末、ライバル紙に情報が漏れるのを防ぐた のた後で原稿を作った。 の記者や家族にも他言し と称して一室に集め、他の記者や家族にも他言し と称して一室に集め、他の記者や家族にも他言し が、『テレグラフ』紙では数人の記者を「研修」

ど、庶民の感覚では不当と感じる経費請求が目白 要」とされる経費 と暴露していった。別宅手当は で「内閣の経費にかかわる真実」と題した第一報 じ住宅を別宅として経費を二重請求したりするな 千五百誉を請求したり、 る閣僚や与野党議員の経費超過請求の実態を次 を開始。 しとなった。 五月七日夜、ウェブサイト(紙媒体は八 あひるの家が建設された庭の維持代に一万二 翌日以降も、ブラウン首相をはじめとす (住居を含む) 夫婦とも議員の場合、 「議員の活動に必 に支給される H 付

·定義を適宜変え、本宅を別宅とすることで別宅ほかに超過請求の手口とは① 「別宅」と「本宅」

え、 曜日発行分より多く売れた。 万部) は ディアは連日の た。六月二十一日 る羽目になった。 した小冊子を付録に付け、 ウェブサイト上に経費問題に特化したページを 掲載もした。 それまでの経緯と共に議員の反応を動画に 月いっぱいは一日 報道の初日 『テレグラフ』の報道を後追いす 同紙の発行部数(通常は約九十 (土曜日) ディスクを持っていない他メ 五月八日には八万七千部 平均一万九千部増加 約十五万部、 は、 経費問題を特集 通常の土 増

での辞任を発表した。 論の風当たりに きたマイケル・マーティン下院議長 的に経費を申請している」と反論したが、選挙民 からの不信の高まりを察知し、 含まれていた。報道に対し、多くの議員は「合法 はブラウン首相、 『テレグラフ』による「問題経費」の 員も続出した。 六九五年以来だ。 自由民主党など野党議員、無所属議員も 耐えられず、 ストロー司法相などの閣僚や、 下院議 手当の内訳の公開を拒んで 五月十九日、六月末 長が辞任を強いられ 経費の一 (当時) は世 部を返還 請求者に

来年五月までに行われる次期総選挙には立候補

が届いた。 ロンドン警視庁から捜査を行わないとする声明 任宣言の日、 護団を手配した。しかし、 常に心配していたという。 逮捕あるいは禁固刑が科されるのではないかと非 ス・テレグラフ編集長は当初、 下院議員六百四十六人のほぼ半数に当たる三百 自宅や編集室で逮捕される可能性を考慮して、弁 た件で自分自身や記者が警察の取り調べを受け、 十五人の議席が新たな議員を迎える見込みだ。 しないと表明する政治家も多く出てい 先の 『No Expenses Spared』によると、 報道には 「公益性がある」として、 マーティン下院議長辞 同紙は記者やデスクが ディスクを入手し る。 現行 ル 文 0

黒塗りだらけの経費公開

用は国民の目に触れることはなかった。 本宅の住所が塗りつぶされた場合、別宅手当の乱院が公表した文書を並べて見せた。議員の別宅・いた。『テレグラフ』紙はオリジナルの文書と下議員の住所などの身元情報が黒く塗りつぶされての経費情報を繰り上げ公開した。大部分の書類は一大月十八日、下院は七月に公表予定だった議員

庭の手入れ 準委員会は十一月上旬、 所 に入らないものとして、 ための提案書を出した。 変えて利益を得ることや議員の家族を自分の事務 で雇 政治とお金にかかわる問題を吟味する公務員基 用することを禁止 掃代を挙げ、 この中で、 別宅の住宅ローン金利、 議員手当制度を改革する する提案を行った。 別宅と本宅の定義を 今後請求対象

> 果たして「秘密のディスク」 経費情報すべてが公開されるかどうかに関して 立議会基準局 るのが現状だ。 なく、広く情報 かの詳細はそのうち」公表すると書か ンさと透明性が基本原則」であるとしながらも、 「どこまでの情報をどの しかし、IPSAのウェブサイトは 求に関しては、 Î P S A が開放されるかどうか、 が管轄することになっ を再度持ち出すこと ような形で公開する 新たに設立され れている。 「オープ

期待される調査報道

となった。があった」としてその必要性を認める見方が大勢があった」としてその必要性を認める見方が大勢た、情報をお金で買った点に関しては、「公益性一般国民の間で高く評価された。当初批判されーデレグラフ』の経費請求報道は英メディア界、

配置する土台ができた」と語っている。に「社内で長期的な調査ジャーナリズムに人材を『プレス・ガゼット』十一月号の中で、これを機・ルイス・テレグラフ編集長はメディア業界雑誌

ス氏は 報道は続いている」と意気軒高に語っ 影響は、 チームの核となった二人の記者は せたいと願っているという。 査ジャーナリズムの旗手として名声を得た。 栗サリドマイドの人体への悪影響を暴露し、 一九七〇年代、 『テレグラフ』紙にもそんな伝統を根付 総選挙の結果に出ると思う」 『サンデー・タイムズ』 一方、 同記事の報道 道の 「まだこの 本当 紙 ル は 調 か イ 腄

加速する米紙の販売不振

も見られる。 数を減らして、 き上げ、そして景気後退の影響で意図的に発行部 な落ち込みを見せている。 インターネットでのニュース閲覧、 新聞紙の部数は、 でここ二十年続いてきた新 ここのところ雪崩を打ったような急激 損失幅を小さくしようとする傾 昨年比10%減になっており、 平日発行され 聞発行部数の落 販売価格の ている日 向 引

とを示している 新聞業界の健全性が危機的な水域に入っているこ 発行されていることになるが、この発行部数レベ ルは一九四〇 たと見込んでいる。 前年同期比で10・6%、 までの六カ月の間、 Α 新聞業界全体では一日平均して四千四百部が BC協会 の調査結果によると、 年以来、 (the (『ニューヨーク・タイムズ 平日発行される新聞紙部数は これを具体的 最低の水準となっており、 一〇〇九年十 日曜版は7・5%減少し 今年四月から九月末 Bureau of 涥 な数値 五. 日 Circula 心で示す \widehat{N}

3%、○八年4%減と近年の落ち込みが顕著であ減少は年1%程度。しかし、○五年2%、○七年九○年代から二○○○年代初頭まで発行部数の

七千部)

となり、

今回

の調査で最も減少

この

ほか

ニュ

]

ア

スタ

1

ている。 とした結果、 者への宅配見直し検討にも至っている。 の減少は都市から離れたエリアに住む低所得購読 課金導入への流れまで生み出している。 格引き上げが行われ、これが売り上げを低迷させ で推移。広告収入の減少を補うため新聞本体の ると、○八年は16・6%、 幅な落ち込みだった。 限られた収入の中で最大限の利益を上げよう また、 数減少を決定付けたのは広告収 発生しているとみられる。 オンライン自社サイトの記事閲覧 今年は28%減のペース (NAA) によ 広告収入 すべて 入の 価

二十五 ニクル け渡した。 ル・ストリ ○年代から守ってきた部数トップの座を 記事数減少につながった。これが長年かけて新聞 集局の人員が削減され、 大規模紙の一つである 台減でとどまり、 二百三十万から百九十万へと減少。これにより九 『USAトゥ 発行部数を減らしてきた原因だ」とも指摘する。 は、「新聞発行に経済性と効率性を求める中で編 新聞業界コンサルタントのアラン・ムッター 全米トップの全国紙として君臨し続けてきた (SC) 万二千部)、 『NYT』は平日版7・3%と一ケタ ·ート・ジャーナル』(二百万部) に明 デー』は17・1%落ち込み、 は平日版発行部 九十二万八千部である。 日曜版部数が23%減 『サンフランシスコ・クロ それが新聞に掲載できる i 数 が 25 ・8%減 **『**ウォー (三十万 全米の 部数も 戌

> は平日に 減で五十万八千部 頭の百十万部から六十五万七千部 となっている。 十四万四千部、 ーヨーク・デーリー・ニューズ』 ス・タイムズ』の平日 ー』『ダラス・モーニング・ニュ 一版が その他の大手紙 『ニューヨーク・ へそれぞれ減少してい 1曜版 版 が11%減で二〇〇〇年初 が19%レ ース は14%減って五 ポスト』は また『ニュ $\widehat{\mathbf{D}}$ サンゼル 落ち込み Μ $\underbrace{\mathrm{N}}_{\underline{\square}}$ 19

る」と苦しい状況を打ち明ける。 も見込めず、 タホなど遠隔地への新聞輸送はローカル広告 値下げ戦略に戻らざるを得なかっ 七十五ビから七ド、七十五ビに引き上げ 五千万‰を失った。そこで宅配料金を一 S C のマーク・アドキンス社長は、 市場性がないため現在 中止して またレー 週 間 昨 また 四ルドル 年

バーすると同時に、広告も増加している。インターネットサイトは新聞紙の発行減少分をカ発行部数が減少しても無料で記事購読ができる

を示し、 聞サイトへの個別アクセス数は、 新聞を配達しない 行部数増減に はプレミアム付き商品のようなもの。 ームズ・モロニー発行責任者は 千二百万へと大幅に増 る調査によると、○七年に一カ月六千万だった新 NAAが実施したニールセン・オンラインによ 一年後には採算が取れ 喜 方針を打ち出してい 憂し過ぎ」と割り切 加 した。 「DMN」のジェ 一今日、 〇九年に入り七 世の 紙の新聞 中は発

金山 勉 = 立命館大学教授)

・ス著作 で協調模索

7 0 社が参加して世界メディ 7 ーサミ ツ

共同通信社経営企 室 問光

共同宣言を採択した。

イアサミット」(WMS) 大手の ディア ディアと新興メディアの首脳が ·国国営の 議する新たな試みだった。 信社やニューズ・コー メディア大手のAP通 時代のニュース組織が直面している課題 グーグルなど九社が共同 新華 社 通信が、 主宰した は、 ポレーション、 メーンストリーム .発起人となり、 ロイター通 「北京世界メデ 堂に会して多 検

リユーション」 参加、 ンターネットメディアも含め、 テレビなどの伝統的なメディアの 民大会堂で十月八日から十日まで開催されたこの 強 世界メディアサミット」には、 テー 国 いる中で国際的なメディ 建国六十周年を祝賀したばかり アの社会的責任」 マに、 のメディ 行動、 終日には 「伝統的なメディアと新興メディ 術 」「金融危機とメディアの 「デジタル多メディアの ア業界が重 人的 ウィン・ウィン、 交流 「デジタル多メディア時 など八つの 大な変化と挑戦に直 0 百七十社の代表が 推進を求める」 アの連携と協力の いほか、 新聞や通 議題につい 0 挑戦とソ 発展」を 新興のイ 北京・人 `対応」 信社、

> 力し、 動をすべきだ」とあいさつ、 期にある時 グローバル化 中 起人の九社首脳とも会見、 保障していく」と強調した。 源・情報技術の交流強化を支持し情報の公開に努 ディアと外国メディアとのニュース伝達、 るとともに社会的責任を持って正確で客観的な活 同の発展のために交流を深め、 開会式には胡錦濤 国政府としても異例の歓迎ぶりだった。 外国報道機関や記者の合法的権利・利 の中で、 世界のメディアが協力を強化し共 中 世界が大変革、 国主席も 記念撮影をするなど、 中 胡錦濤主席は共同発 世界平 茁 国 席、 政 府が中国 大調: 和に貢献 多 人的資 整 極 益を 0 化 時 メ す

ネット課金推進と不正防止を強調

ディレ 社長、 シンジャ 信の石川聰社長、 軍社長、AP通信のトム・カーリー B C 全体会議には共同議長として新華社通 F ニュ クタ キャスティング・ 0 サ 1 ーズ社の 1 ムブルック・ 編集主幹、 CNNを傘下に置 口 ル イターの パート タス通 システム グロ] ・マードック会長、 信のイグナチェンコ デービッド・シュレ ル・ くター T B S ニュ 信 ーース・ 共同通 の李従

口

В

るメディアの課題についてスピーチし 性の確保などインター 関係、 オンライン課金や検索サービスと新聞 マル 社長が コ ース情報の著作権、 1 、同議長として壇 ネット 時代に直 1 ・グル 上に並 チ 情 面 一報の透 して

護や公共の福祉のためにメディアが果たすべき社新華社の李従軍社長は冒頭あいさつで「環境保 経験の共有を促進すべきだ」と訴えた。 的な成長を後押しするために、 スが重要だ。 会的責任は大きい」とし、 バランスを兼ね備えたニュース情報 平和の発展、 世界 「正確 メディ 性、 済 0) 健全・ ア 公 ビ

兼社長の演説だった。 たAP通信のカーリー 公正な利用料の支払いを求めていく決 オンラインコンテンツの不正無料 いく必要性を指摘しながら、 デジタルで利用するエンドユー たのは、多メディア時代には通信社がニュ 全体会議の基調スピーチの中 最高経営責任者 インター で、 ザーにも対応して 使用 最も を批 意を表明 ネットでの Ĉ E 注 判し、 1 目 ・スを され O

グとデジタル インコンテンツを双 カーリー社長は、 エンスが でするユ で発信したりする新たな何百万人の る。 つな ーーザ の世界を結ぶ橋の向こうでは ニュー がり、 方向 「デジタル時代に、 0) 行動 スメディ ブログを書い で活用し、 が変化 アはこの した。 ソーシャ たり、 ニュ シアナロ アナ オー オンラ ツイ ルネ 1 口 ス

:に渡らなければならない」と強調し、 からデジタル かにした。 取り組み、 0 火の付いた橋を、 ツイッター 燃え尽きる 0) 活用も始 A P が ニ

鮮明にした。 がコンテンツを創造するわれわれからオーディエ し、ニュースメディア側がオンラインコンテンツ テンツアグリゲーターや、 たことを反省。 するニュースメディア側の取り組みが不十分だっ 遅過ぎた」とオンラインでの記事の不正利用に対 ニュースを使っていることへの対応があまりにも スブック、ユーチューブなどのウェブサービス 有料化と公正な利用料の支払いを求める姿勢を その上 第三者が許可もなしに無料でわれわれ でカーリー社長は「コンテンツ提供者は 収入の機会を奪ってきた」と批 さらに「検索エンジンなどのコン ウィキペディア、フェ 判 0

とを明らかにした。 るようなことを許すことはできない」と強調。A Z スを集め取材報道に専念してきたが、こうした営 を切り離して支援することもなく利益だけを得 人的資源と膨大な経済的コストをかけてニュー さらには 使用 (APニュース登録システム) 信と加盟新聞社がニュースコンテンツの テンツに電 をやめさせ、 を監視追跡する「ニュース・レジストリ カ れわれは公共の利益のために多く 子的名札 これはAPが配信するすべて インターネット上での記事の (タグ) を開発したこ を付け、 不正

> 開くものだ。 用を防止し、従来不当に低く評価されてきたコン 使ったかが分かる仕組みで、 テンツ制作者 誰が、 の情報対価を改善することに道を そのコンテンツをネット上で コンテンツの 不正使

共同社長はアクセス確保、 著作権保護を訴え

強調した。 聞の情報発信力を強化する努力を続けている」と できる編集活動を展開、 メディア環境の変化に対応しながら、 ズムの役割は 発展しており、 アの役割と可 い、「インターネットによる双方向 共同通 信の石川社長は 一層重要だ。 能 民主的な社会におけるジャーナリ 性」と題して基調スピーチを行 インターネット時代の新 「新時代におけるメディ 共同通信社はあらゆる 性がますます 力強く信頼

消費者への迅速・確実なアクセス」を挙げ ロバイダーの著作権の保護」、 源へのアクセスの確保」、 の守るべき重要なポイントとして、 さらにデジタル時代にあってもジャー 第二に「コンテンツプ 第三に 第一に 「ニュー ナリズム . 「取材 ·ス

とを評 と述べ、 で外国 源へのアクセスが確保されなければ実現しない した。また中国政 ツ取材が制限される現象が起きていることを批判 方的に優遇され、一般ニュースメディアのスポー 石川社長は [メディアの取材に開放政策を取り 国際 中 スポーツイベントで権利保有者が 「公平で公正なニュース報道は情報 玉 一政府当局に取 府が四川大地震や北京五 材源 0) アクセス 始めたこ 一輪など

> 要があることを強調した。 必要で、違法なコピーがネット上に流通すること 力してグローバルで包括的 伝統的なメディアとオンラインの新 は許されない」とし、 ンツのニュース価値を不正な利用から守ることが 開放政策をさらに推進するよう求めた。 利保護について「オリジナルコンテ この問題 決策を見い に対処するため、 ダメディ アが協

中 -国はデジタル開 放と知的所有権尊 重

価を支払わざるを得なくなるだろう」とニュー を鮮明にした。 ポータルなどのオンラインアグリゲー 盗用者は間もなくわれわれのコンテンツを も全体会議の演説で、「アグリゲータ 拡大を目指しているニューズ社のマー 米メディア大手でグローバルなメディア事業の インターネット情報の有料化を推進する姿勢 1 ドック会長 ター ゃ 使う対 情 を非

は自分の運命を決めるだろうが、 が繁栄する能力がむしばまれることになる。 を開ける て世界第 ありながら、 作権や知的所 のドアが開けられ さらに 知的所有権の保護が不十分だと創造的な会社 廃止を求めた。 「グロー ″門戸開放(<u>ー</u>の 乗り気でない超大国でもある。 有権 経済大国になることが約束されて もなくなる」と述べ、 の尊重、 なければ多くの機会が失わ さらに ル の機会が中国に到来して 化 の時代にデジタル インターネット 「中国は発展途上国で もし、 中国政府に著 デジタル -情報の 0) ħ 中 K 玉

C

NNの親会社タイム・ワーナー

のアジア太平

に、

な責任がある」と強調した グ 口 1 ル パワーとして 0 中 玉 には

イター

ものは グロー 開と透明性の推進と確保が重要であり、 場も組み込まれているが、 融経済市場の発展のためには情報の公開を拡大す ることが重要だと強調した。 信頼できる国家統計が必要だ」と述べ、 口 ター バル化した二十一世 「中国でも世界でもメディア報道が求める のデービッド・シュレシンジャ 中国政府機関の情報公 紀の金融市場 客観的な に中国 中国の金 ĺ ·編集 市

たすべきだ」と訴えた。 に、「中国は外国人ジャーナリストの取材活動を また同 府と市場の情報の透明性の確保を訴えるととも 年代初めには 中国 開放性と透明性を確保し、 府情報 経済はミステリーだった」と述べ、中国 氏がロイターの中国支局長をしてい の透明性がなく、 「国家要人とのインタビューもま 統計も信用でき 説明責任を果 た九

インターネット利用者が人口の25%、三億四千万 国際的 長、スティーブ・マルコ 介、 |界のインター な協調の中 中国が巨大なメディアの成長市 -ネット で人的資源の提供を行 ポト氏は中国 利用のトップに 0

BCのサムブル ツ ク氏は最近十 牟 間 のコ Ξ

卜

した。 ディアと検索サー ニケーションの ムの多言語翻訳が実現するだろうと述べ、 ンピューティングが普及、 の85%がオンラインの買い物を経験している」と 三億三千万の中国人がオンラインで中 が、今や二十億人が毎日ネット検索をしており、 と多メディア化を推進していく姿勢を強調した。 を約束、 てBBCがオンラインサービスを発展させること となったとし、三億人の中国の英語学習者に対 述べ、二〇一九年までの今後十年間にクラウドコ C C T V んだり、 グーグルの劉副社長は「十年前までは朝刊を読 BBCのグローバルニュースの質の強化 図書館に行ったりして情報を得ていた の映像を見る時代だ。ネット利用者 グロ ビスの協力拡大の必要性を強調] ル 映像検索やリアルタイ が重要な道 央電視台 情報メ

信と日本の新聞社がどのようにデジタルニュース の挑戦と機会」についての討議に参加し、 ビジネスの課題に取り組み、 分科会では筆者も「デジタル・多メディ 協力しているかについて報告した。 オンライン化 共同通 ア時代 に挑戦

情報発信力を強化するために努力していることを 紹介した。また47NEWSのデジタル情報 るコンテンツを内外発信するために通信社記者の ホー 共同通信社が多メディア統合編集実現 グロ 編集局の組織構造改革に取り組んできた経緯 ムを通じて五十二の ーバル化、 多メディア化の中で、 加盟新聞社とともにオ あらゆ 0 ピプラッ ため

> 聞の実証実験を加盟社とともに推進していること などについても最 ンライン情報 データを基に説明し 化している現状 電子新

報しも した。 性と説明責任を促進することを希望する」と明記 ったが、 透明性の確保などを求める辛口の たスピーチには中国に取材源への しており、全体会議で各主要メディア代表が 公正なニュースを提供し、 のメディア組織が正確で、 目される。最終日に採択された共同宣言も えていたが、このメディアサミット成功のために メディア首脳と交流したことは前 局常務委員の中国トップが開会式に出 ・国が前例のない積極的な姿勢を示したことが注 社は 石川共同社長のスピーチを全文紙面 新華社はそれらの全文を報道、 一胡 錦濤主席や李長 政府や公的 客観的で偏 春共産党中 コメント アクセス確保 例がない」と伝 機関 向の 『人民』 -が多か が 央 透明 掲

事 Sを新旧 希望を持っていたが、 略的な狙いがあったといえる。 ィアの世界でも求心力を高めようとする中国の戦 首脳を北京に集めてW 上海万博もにらんで、 務局 中 国 が検討していくことになっ が昨年の北京五 メディアがデジタル時 するプラット 世 次 MSを開いたことにはメデ 輪 回 界の主要メディア の成功を背景に の開催者が -ホー 新華社 代に直 決まらず、 面する課題 はこのW \bigcirc 組 年 Μ

経済危機のバルカン半島

ボスニアの墓標街道を行

」は六つの国に分裂していた。 れ、つて足を踏み入れた「チトーのユーゴスラビ ったこの夏三十七年ぶりにバルカン半島を訪れた。 住屋

ボに近い高原ルートへ方向転換したからだ。あり、一時間余り足止めされた。やむなくサラエチまでバスで七時間余りかかった。途中、検問がゴビナ第三の都市モスタルから国境に近いビハッゴビカ第三の気配濃い高原の道をボスニア・ヘルツェ

ぶ白い: ボ を連れて、 色の民家と新築農家が混在する。 が所々あり、色 針葉樹林の森と民家が点在する荒野。沿道に並 ムスリム人(ボスニア人)の墓標であった。 無告の民の墓標が続く。 柱が途切れた辺りにベッド式の西洋風墓石群 柱。牧場の柵と見間違えた大小の白い柱 暮れ果てる草地を歩いていた。 とモスタルの戦火の激しさを、)鮮やかな生花が手向けられてい 弾痕をとどめた黄土 老人が数匹の羊 サラエ 果てる

イスラムの町モスタル

ことなく続く墓標が物語っていた。

は十余りに減った。オスマン・トルコ帝国時代に住む町で、内戦前は八十近くあったモスクの尖塔はスタルはサラエボに近いイスラム教徒の多く

が言う。 から飛び込んでみせるから、カネを出せと若い男は語っていた。川まで十㍍はあろうかという橋上 引き取られた英国から戦後帰郷したガイドの青年 住民の多くがイスラムに改宗し、 闘場面も含まれていた。 写真とともに買い求めた。 の実写DVD作品を上映販売していたので、 ていた。「モスタル~町、 わせる旧軍の鉄かぶと、 った。そのころ建設された石橋は「内戦で破壊さ れ、五年前に再建された」と九歳で孤児となり、 細道の両脇に並ぶ土産物屋はナチスを思 制帽、 橋、 正視するに忍びない 戦争」という題名 ムスリム人とな 軍刀を売っ 橋の 戦

共和国の設立を宣言した。 助を受けて、 統領率いるユーゴスラビア政 セルビア人自治区をつくった。 した。ボスニアのセルビア人はこれに刺激され、 票によって決定、欧州共同体と米国が同月、 を恐れ、ユーゴスラビアからの独立宣言を国民投 ボスニアは一九九二年年三月、 カラジッチの 沿指導 府 ミロシェビッチ大 の下にセルビア人 (自称) ビアの支配 の軍事援 承認

立を宣言し、ヘルツェグ・ボスナ共和国と称し一方、クロアチア人はクロアチア人共同体の独

が居住地を追われ難民となった。と兵士二十万人以上が殺され、二百七十万人以上国連はセルビアに対し経済制裁を実施した。市民力が支配する首都のサラエボを包囲、攻撃した。九二年四月、セルビア人勢力はムスリム人勢

といわれた。
といわれた。
といわれた。
解体したユーゴスラビア社会主義連邦共和国は

(愛知学泉大学教授)

人 るロマ人(ジプシー)などがい ビア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、 ナ自治州に多いハンガリー人、また各地に散 部に多いアルバニア人、セルビア北部ボイボディ セルビア南部コソボ自治州やマケドニア共和国 グロ西部 ア・ヘルツェゴビナ、セルビア南西部、 ロ、マケドニアで、五つの民族には 六つの共和国はスロ クロアチア人、セルビア人、モンテネ マケドニア人が含まれる。 (サンジャク地方) ベニア、 に多いムスリム人、 このほ る。 クロアチア、 スロ モンテネ モンテネ ボスニ 在す セ

星国ではない独自の社会主義国家ユーゴスラビア 化大革命が続く中国とは 旅行の地として訪れた。 リアに支配され、戦後、パルチザン勢力指導者チ トーによって独立を達成した。チトーはソ連の衛 ユーゴスラビアは第二次大戦中、 八〇年に死去した。 私は首都ベオグラー そこは、 大違 プロレタリア文 ホ ドイツ、 ・テル (チトー K -を新婚 の晩 イ ・スト

ため町をひたすら歩き回った。て、新妻連れの私を困惑させた。カネを節約するでは胸が大きく開いた金髪の女性がウインクしていた。優雅な社会主義であった。スナックバーランでは室内楽団が哀愁漂うスラブ音楽を演奏し

アドリア海の真珠」 ドブロブニク

英国人女性も入っていた。人の参加者の中には千葉県で英語教師をしているをめぐるバルカン半島周遊の団体旅行。総勢七十をめのが行はドブロブニク(クロアチア)など

北ポイント。 一 パティア、 水の ポストイ 青く輝いた。 にあるブレッド が、翌朝、 ブラーツまで四十 つ のほとり ンに夕方到着。 オーストリア航空で成田 小島にある アルプス山系の東端、 0 ホテルとして利用されていた。 したシーオルガンを見た。 ザ 鍾乳洞を見学、 日の ホテルへ。 昭和天皇も訪れた湖畔 断 ダルを経て、 小型機に乗り換えてスロ バロック様式の聖マリア教会が観 がいにそそり立つブレッド城と湖 湖 出前の湖を散策する老夫婦が多か ザダルでローマ時 分。 の透明な湖水は日の出とともに そこからバスでブレッド 到着したのは深夜であった トロギー バスでクロ から十二時 ユリアン・アルプス のチトー別荘 代 ルまで三百七 間、 アチアの の遺跡や海 昼食後、 ベニアの ウィ オ 湖]

る旧ユーゴ ル 幹部 ホテル・ 1時代の・ 用の 福 メデナ」 大型リ 祉施設であったことを は、 1 卜 ・ホテル。 眼 前に 砂

ルに興じていた。思わせる造りだ。均整の取れた男女がビーチボ

五万円。 理が多かった。「チトー時代の空気が漂 程十日余りで三食付いて、 わされるのだと思うよ」と、 旅行で行った。 帰国後漏らしたら、 と、ソ連、 海に面 うまい飯と酒を望むの しているのに 東欧を長く担当したジャーナリ 団体旅行だから、 私も最近、 魚介類に乏しく、 あちこち見学して二十 たしなめられた。 が無理 そういう飯を食 モスクワへ団体 っていた 大味 バストに な料 Н

七月に独立を宣言、 強行しようとし、コソボはこれに反発して九○年 を掲げたミロシェビッチが大統領となり、 ニア系住民 ーゴスラビアでは各国で民族主義者が政権を握 した。チトー クロ 中 諸勢力入り乱れて アチアは九一年から九五年まで内戦を経験 心であるセルビア共和国は大セルビア主義 が多いコソボ社会主義自治州の併合を ·死後、 東欧民主化の流れの中 以 の内戦に突入した。 後ユーゴスラビ こアは アル ーで、ユ 各民 バ 9

アが十日間の地上戦で独立を達成、次いでマケド九一年、文化、宗教の面で西側に近いスロベニ

枠組みが定められ 争が起きた。九五年十二月、 脳によるボスニア和平 二年から九五年までボスニア・ヘルツェ スニアからの独立を目指して戦争を繰り返し、 ナは九二年に独立したが、 和 『が独立・ た。 協定が調 ボスニア・ヘ クロ 国内の パ アチアは ハリで紛れ 節さ れ、 ビア人が 争当事 ル ルツェゴ ゴビナ紛 年 玉 家の 国首 内 九 ボ ビ

る幹部会議長が国家元首となっ 接選挙で選ばれ、三人が八カ月の輪 意思決定機関である幹部会はムスリ 人共和国(スルプスカ共和国)」 ボスニア・ヘルツェゴビナ連 それによると、ボスニア・ セルビア人、 クロアチア人の ^ 邦と から ル ツ ム人 エ 各代表が ーセ ŋ ゴ **(**ボ ビナは ル スニ ビ 最 ア

己申告に基づく民族構成によると、 くなり、 ア人)の子孫で、 決 自らの生活を律 らイスラム教に改宗し、 人口の4%を占め の一つとして認められていた。 教に改宗した南スラブ人(クロアチア人、 ムスリム人はオスマン帝国の支配下でイ められるものではなく、 中国で言えば回族に当たる。 ボスニア人と言われるようになっ ムスリム人という民族概念が用 府からも認 する。 旧ユーゴスラビアでは主 る同国最大の民族集団 められ、 民族とは血 回族という少 イスラム教徒として ボスニアでは 漢民族でありなが 風 ボスニア人は 数民族とし いられ である。 -スラム 一要民: セ 内 ル 自 戦族

族の定義の根拠である 生活など総合的要素によって決定されるという民

なるころにはきっと良い暮らしができるようにな られたクリミア・タタール クリミアではロシア当局に迫害されているが、 入り込んだクリミア半島に半世紀ぶりに戻った。 スターリンによって中央アジアへ強制移住させ には満足している。 あるタタール人女性はテレビ取材に語っ 人は、ロシア人が多数 子どもたちが大きく

た。

モスタルの町並み

本を頼りにする経済復興

の経済支援を要望した。 予測され、 為替差損で膨らんだ外貨建てローンの借金だっ 続いている。 ボスニアは今年大幅のマイナス成長になると 東欧各国は金融危機に直撃され、 十月に来日したアルカライ外相は日本 仕事と金の両方が消え、 残ったのは 資金流出 が

支援を日本に期待している。 改善を要望した。両国とも窮状打開のための産業 ミッチ外相はコソボ紛争で悪化した日本との関係 同月、入れ替わりに来日したセルビアの れまで三億ドル (約二百七十億円) 日本はボスニアにこ 超の復 イエ

旧・復興支援を実施し、

百人以上の選挙

客を大いに誘致したい」と語っていた。 中東欧などの成長市場に近い利点を強調 は東京の外人記者クラブで記者会見し、 償資金協力を約束した。 活動に二十万号 政府組織 監視要員も派遣してきた。 の整備に対する日本の支援を要望し アルカライ外相は岡田外相に火力発電 光産業はわが国にとって有力産業で 岡田外相は環境分野での円借款や非 日本企業に投資を呼び掛けた。また ホテルやマンションを建て、 N G O (約二千七百万円) による残留地雷除去 アルカライ外相 の無

ボスニアはこれまで海外からの投資を

輸出主導型の経済発展を目指

高い労働コストなど、 率的な行政、 とはいえない。 て、 行政の恣意的な扱いと根 ている。 新規投資を受け入れる体制が十分整っている 企業設立に際しても、 近隣諸国と比べて生産性 社会主義時代の名残を残し 強 い汚職体質が災いし 手続きが煩 が低 然雑で、 や非 11

日本に親近感を持っているためでもあるようだ。 青息吐息である。次々と外相が日本を訪れるの 不振による輸出低迷にあえいでい 送金激減と帰国 ボスニアも含めそれらの国は今、 た国も旧ユーゴスラビア諸国の中 一次大戦の戦災から立ち直り、 困ったときの日本頼み」の感が否めない リゾート開発に力を入れ、 出 一戻り)、 ユーロ圏 不動産 復興を成し遂げた る。 出 には多かった。 稼ぎ労働 ブル 諸国の経済 建設業界も が、 踊 第

る。 ら復興途上の ねない、 たという点でも共感する点があるのであろう。 を二度と繰り返してはならない」 長を「粘り強くやるべきだ」と激励した。 験からオリンピック招致を狙う広島の秋葉忠利 みにしていた。サラエボ・オリンピック開催の経 た。あすは広島に行く」と言い、 アルカライ外相は 中東欧の経済危機は世界恐慌の引き金になり 両者は一致していた。 といった物騒な指摘も出ている。 ルカン半島諸国 「けさ、 岡田外相と会ってき 戦災から立ち直 の **一**(外相) 広島訪問を楽し 前途は多難であ という 市

メデ ィア談話

会見開放と記者クラブ

このところ脚光を浴びている。 受け取るメディアの側か。 普段はほとんど意識することもないこの問題が、 報を提供する官庁や警察の側か、それとも情報を 者会見はいったい誰が主催しているのだろう。情 数多くの記者会見が行われている。これらの記 官庁や警察を対象とする取材現場で毎日のよう 現場で取材する記者も

主催は記者クラブ?

X

省庁では、それぞれの記者クラブの反対などで開 明らかにした。外務省や法務省、 放は進んでいない (本欄前号)。 者クラブ所属のメディア以外にも開放する方針を 全面的ないし部分的な開放が実現した。が、他の きっかけは記者会見の開放問題である。 民主党政権は主要省庁での記者会見を、記 金融庁などでは 政権交

ブ主催」と考えている。 は、ほとんどの記者会見は「原則として記者クラ ないメディアの記者ないしフリーランスの記者 開放が進まない理由を突き詰めると、 の問題に突き当たる。 そして記者クラブに所属 記者クラブ側 記者会見

> との立場を取っている。 は、 クラブの主催する会見には参加を認めない

藤

田

博

司

別を受ける。 うこと」などを加入資格の条件として掲げてい できるわけではない。記者クラブ側は れず、仮に認められても、 ーランス記者はそのため記者会見に出席を認めら 認められない雑誌、インターネットの記者やフリ 報道機関の記者であることが条件になる。加入を る。現実には日本新聞協会加盟社やそれに準じる の厳守」や「記者クラブの運営に一定の責任を負 記者クラブには報道に携わる人間が誰でも 質問できないなどの差 「報道倫理 加入

ないから、開放は ブが出席者の資格にあれこれ注文を付ける理由が ば)簡単に実現する。 会見が記者クラブの主催でなければ、 (安全警備上の問題さえなけれ 記者クラ

記者クラブが 会見を開放する方針を実施に移した。 メディア側の主張を押し切って、 現に外務省では、 亀井金融担当相が記者クラブとの会見とは別 「クラブ主催」 岡田外相が記者クラブ所属の を譲らなかったため 当局側の裁量で 金融庁では

> 席を設ける措置を取っている。 クラブに所属しない記者たちのために会見

せず

判断によって左右されてしまう危険性をはらんで ということになる(同 とや、「行政責任者などに疑問 り、具体的には「適切な会見設営に努力する」こ 関による(会見の)恣意的運用を防ぐ」ことであ など、「会見の運営に主導的にかかわる」こと、 ただす機会の場をもっと積極的に活用する」こと 解」/二〇〇六年改定)。 いる」ためだという するのは、会見の メディア側が会見の「記者クラブ主催」 「運営などが公的機関の一方的 (新聞協会編集委員会の「見 「見解」 言い換えると、「公的機 解説)。 点 問題点を直

なるのだが、その区別が明確になされているよう 関主催の会見が入り交じって行われていることに 見を一律に否定するものではない」とも述べて には見えない。 われている記者会見は、記者クラブ主催と公的機 のことだという。だとすると、 る。 「ネット社会到来という時代状況を踏まえて_ しかし同じ「見解」は 「公的機関が主催する会 取材現場で毎日行

特に取材活動に大きな支障はないというのが実情 が主催するかをいちいちはっきりさせなくても、 する必要を感じている様子もない。 そんな区別など意識してもいないようだし、 実のところ、 現場の記者たちに聞 会見をどちら いてみても、 区別

るいは排除するよう役所側に働き掛けて

明らかに行き過ぎだろう。

る。

を声高に主張する理由はどこにあるのだろうか。 ているわけではないとみてい くても、メディア側にとって大きな不都合が生じ 催権が記者クラブにあることをことさら主張しな ば起きているということでもなさそうである。主 違っていなければ、 機関による恣意的な ということは、「見解」 今記者クラブ側が が心配するような「公 もしこの見方が 運用」がしばし 「主催権

実態は当局が

機会を不当に奪ってきたことになるのではないか。 者クラブが直接運営に関与しない記者会見につい 出してきた。これはクラブ非加入の記者から取材の で、これまで記者クラブは事実上、 ることはやむを得ないとしよう。しかし現実に メンバーを制限することは自由である。 しない、あるいはできないメディアの記者を締め 可否をクラブ所属のメディア(の記者)が決め記者クラブが主催する会見なら、それへの出席 記者クラブがクラブへの加入要件を定め、 主催する主体があいまいなほとんどの会見 クラブに所属しないメディアの記者を排 クラブに加入 しかし記 所属

会見や発表は記者クラブ主催のものだと言いたい かもしれない。 記者クラブとしては、 しかしこれらがすべて記者クラ 官庁など当局が行う記者

例

主張するには無理がある や「主導」に基づ いて行わ n 7 11

ると

局側の ずである。もし、 にしようとすれば、恐らく大半の会見や発表は当 と記者クラブのいずれの主催であるかを逐一明確 の責任に基づいて会見、 当局側には国民に対する広報の必要や情 「主導」によるものになるだろう。 会見や発表の内容によって当局 発表を行う場合があるは 報公開

ばいい。その上でクラブ非加入の記者たちを排除ばならない会見の場合は、それを明確に打ち出せ ているのは、その方がむしろクラブにとって好都 い。普段の会見で主催権の帰属があいまいにされ しなければならないのかどうか、 合だからと見るのは、うがち過ぎだろうか。 どうしても「記者クラブ主催」を主張しなけれ 判断すれ ば 11

記者クラブの見直しも

打ち出したことで、 にすることを新聞界が目指すのであれば、 するように、 改めて見直す作業に入っている。「見解」 民主党政権が記者会見をめぐって新たな方針を さらに具体的な指針を示す必要がある。 記者クラブを「より開かれた存在」 新聞界でも記者クラブ問題を が指摘 この

まで ことが本当に欠かせないことなのかどうか。 最大の焦点は、 があるの 記者クラブにとって会見の 「主催権_ か、 を具体的にどのように行使した事 「主催権」 会見の がなけ 「主催権」の扱いにあ ればメディアは 「主催権」を握る これ

> 現実に即して検討し直してみるとい 権力に立ち向かえないのかどうか。これ 5 0)

ば、その都度、記者クラブと当事者、 がいずれにあるかは問わず、 に沿った対応をしてはどうだろう。 阻害してきた負の側面があることも否定できな まな便宜を含め有用であることは間違 を説く人が少なくない。 入の記者の側に報道倫理に反する行為などがあ ついては当局側の判断に委ねる。 主催」という虚構をきれいさっぱり清算し、 て一段と強い批判にさらされることになるだろう。 かし半面、 できる有力メディアにとっては、 この際は、記者会見が メディアの内側にはまだまだ記者クラブ有 既得権益にしがみ付こうとするメディアとし 現在のままの形で記者クラブを守ろうとすれ 必要に応じて協議すればい それが非加入メディアの正当な活 確かに記者クラブに 「原則として記者クラブ 出席者の資格などに 仮にクラブ非加 取材上のさまざ 会見の主催権 当局側 いない。 どの 加 用

る。 明なものにすることにあるはずである。 に尻込みするような記者クラブではないはずであ 競争はむしろ歓迎すべきことだろう。 生大事に守ろうというのでなければ、 に記者クラブ側も異論はあるまい。 かれたものにし、政府とメディアの関係をより透 民主党政権が打ち出した記者会見 狙いは要するに、 取材、 報道の過程をより開記者会見の開放方針 (共同通信社社友) 既得権益を後 公明正大な その狙 しい競争

では

H

米同

盟、

特に

米

軍

再編と沖

縄

地

その

偏狭な対日

圧力には、

大国

0)

いおごり

····· リオッチング

日 米 同 盟 再 構 築 の 道

首脳の)政治理 念 具現化

脱皮を目 効薬はなく、 しているのが両政権共通の姿だ。 ン・ショックで破綻した市場原理至上主義からの主党」同士。9・11テロ以降の大混乱と、リーマ ガンに掲げて長期保守政権を倒して躍り出た て意見を交換した。 公式訪問 政権 発足の鳩山政権はともに *チェンジ* マ米大統領は十 麻生政権が残した、負の遺産、 指して 鳩山由紀夫首相と懸案の 体制立て直しの前途は厳しい。 [^]船出[′]、 一月誕 月 荒波と闘いながら操船 生したオバ 十三日、 しかし、 初 諸問題につ \otimes 清算の特 をスロ 政 て日本を ブッシ 権、 民 九 41 1

1, 核不拡散 盟」を深化させることを確認した上で、 共同 Щ 念と目 ロ・オ へ の わたるテー 文書と行動計画を発表した。 安定と繁栄など多角的 今後 バマ 連携、 指す共通目標を再確認した意義を高 の具体的施 会談では、 地球温 マを論じる紙 施策に期 暖化対策、 両 国]の基軸 にな協 幅がない 待を寄せたい。 力を話し合 両首脳が掲 アジア太平 核軍縮 日 ため、 米 同

> 問 題に絞って考えてみた

解決へ閣僚級 作業グル

I

プ

妥協点を見いだす努力こそ肝要である。 異なっているが、対等な交渉を通じて、 なこと。 ての再検証 先送り」と批判する声もある 決めた点を /一 プ設置」 会談で、 気に解決することはできまい。 総選挙で訴えて政権を勝ち取った鳩山 普天間飛行場を県外か国外に移設 自民党政 現在、 に合意し、 「普天間 ・再構築を日本側が求めることは当然 権 普天間移転に関する両国の主張は 歩前進〟と評価したい。 から続いてきた日米外交案件を一 問 , 早 題に関する閣僚級作業グルー ・期に結論を出 が、 従って今回 米軍基地 す」と取り 着地点 民 「問題の 民主党だ につい 1の首脳 8 30

ば、海にたゲー と、 執拗な、鳩山バッシング に沖縄の兵員縮小やほかの 快極まりない。 ところが、両国有識者やメディアの一 恫喝的 海兵隊のグアム移転はなく、 ツ米国防長官は な言辞を吐いた。 岡田克也外相と十月二十日会談し 「普天間 が依然続 基地 で移設しなけれ 0) グアム移転なし 返還もない いており、 部 から、 不

調整が付 画は 〇〇六年 (橋本龍-そもそも名護市辺野古への移転案は一 米軍 が 7再浮 結果、 太郎 かず十 Ó 世界 (小泉純 上 政 、戦略見直しの ・年間放置されたまま。 決着するかに見えた。 に決まっ の滑走路案 郎政権) たもの 0) 環で、 によ 「在日米軍 0 いって 米国 この その 九 地)再編計 |再編協 後、 元との 九六年 |主導 辺 野

> 約七千億円を押し付ける強引さだった。 たもので、 千人を削 引に進 めら 海兵隊 これは普天間移設とパッケー たもの のグアム移転の 四年までに完了させ 沖 縄 H |本側 0 る」と決 海 費負 兵

いるか、 先が決まらず右往左往するばかりだ。 無駄な歳月が沖縄県民をどんなにいら立 ″基地の島の悲哀″ が続いて 十三年 たせ 間も

ところが、それから三年経過した現

在も、

移設

0)

バリ指摘 咎めたメディアがあっただろうか。 いた。一 うとしている」 関係は一九九〇年代の貿易摩擦以 に冷淡」との見出しを掲げた『ニューヨー 制をこわすことになるのか私には理解できない にちゅうちょしなくなり、 イムズ』11・12付記事にはび 一つの海兵隊基地を沖縄の外に移すことが安保体 ると主張する人々に訊きたい。 地が沖縄に存在しなければ日米安保体制が崩 米安保が崩壊すると大騒ぎしているが、 ゲー 山口二郎・北大教授は 日 をひぼう中傷したのも同紙 11 本政 ツ長官の無礼な恫喝に対して、 方、オバマ訪 13 (『東京新聞』 府は突然、 との居丈高 刊 が報じ 米当局者と公然と争うこと 日に合わせ、 10 7 不確実な新時代に入ろ な論調を、 「基地存続の罪」をズ i, 25朝刊コラム)して つくり 御殿女中よろしく 電子版だっ 先に 米海 一 月 が仰天。 朝日 最も対立的 その 本は米国 鳩山 ただけ 一日米 ク・タ 隊 の基 非

一間見える

うな将来展望を、 機会として捉えるべきではないか」との田中 るのか、 元外務審議官の提言 マ大統領の訪日はその共同作業をキックオフする で首脳宣言をつくる作業を行ってはどうか。 て基地問題といったもろもろの課題をきちんと議 顕著な変動を受けて将来の 共同作業の継続を基本にすることである。 方が一方に要求を付き付けるのではなく、 あるいは の安全保障も沖 九九六年の日米安保共同宣言のような形 東アジア共同体の 国際安全保障への日米の役割、 私が切に望みたい メディア報道に望みた (『毎日』 日米の 0) 考え方や核軍縮と核抑 負 11・5夕刊) 在り方をどうす も日 日米の 世 オバ そし 界の 0) 均 ょ 通

思いやり予算」を見直す好機

玉 員 るようになった。 振り返っておきたい。 代わり る年度別 の景気回 の給与の 七八年に金丸信・防衛庁長官が経費の一部を 転用 った駐留米軍の負担軽減 り続け、 するル 大してしまった。 すると表明、 「駐留米軍への思いやり予算」の経緯を 予算を示しておく 復 部に充てる六十二億円だったが、 1 も減額され 発足時の予算は日本人基地 ズさに驚 ベトナム戦争後財 たくな娯楽費や施設整備費 「思いやり予算」と言われ るどころか負担 が、 衛省HPが公表して 当初の目的だっ 予算をむしり 政ピンチ 従業 額 米 は 取

> パターンだったことに、改めて驚愕した。に一度走りだしたら止まらない公共事業費と同 うが、その 気前のいい同盟国」と言われているという。 す膨大な額。 負担してきた「思いやり予算」 三億円 四四四 二六億円 二五〇〇億円 最近多少減額されたものの、 年二五六七億円 六八○億円 1978年六 億 ▽ 09 年 四億円 円 額の多さは群を抜いており、 他国でも米軍駐留費負担はあるとい ▽07年二一七三億円 ▽05年二三七八億円 ∇ ▽03年二四 (予算) 一九一九億 ▽01年二五七三億円 \vee 85年八〇七億円 円 六〇億円 79年二八 日本が七八年以降 総額は三兆円を超 \bigcirc 08 ▽66年二三 $\begin{array}{c} \searrow \\ 2\\ 0\\ 0\\ 0 \end{array}$ 一世界 年二〇八 ▽ 04 年 億 ∇ ▽ 02 年 90 年 円 まさ ∇

かし、 11·7朝 基地では、 け る問題だけに、 日本側負担 は日本政府が、 協定に基づき、このうち二万三〇五五人分の給与 フ場などの娯楽施設職員として計二万五四 が、今回の仕分け作業の対象となる。 思 (8年度末現在) ればならず、 概算要求額一九一九億円のうち一一六四 やり予算 一思い 刊)とのことだが、 司令部の事務職員、 分が仕分けの対象になる」(『読売』 やり予算」 仕分け作業は難航するだろう。 残りは米軍が負担している。この が働 減額 米軍基地見直 いている。 に取り 垂れ 組む緊急性 流 基地従業員に跳ね返 レストランやゴル しにメスを入れ 日米両国の特別 と連動 …在日米軍 を痛感で 九九人 して、 億円

> 色を見て判断するような 行にストップを掛けることが望ましく、 人よしゃ 過ぎる不条 国 理 の顔 玉

すべてが気付くべきだ。 日米連携で、世界に 貢献する提 せ

ない。 力強 課題に答えるパートナーシップとしての日米関係 まで拡散しようとする核兵器の そが問題なのである。 るのか、 提案することはなかった。 多大な犠牲と軍事的弱体化を招い なるとの (『朝日』 政権に求められるのは、 綻国家への めの制度形成、 れられてしまう。 のような制度や政策が必要なのかという課題が忘 って何を実現するのか、そもそも現代 日本の外交を押しとどめてしまうなら、 日米同盟の安定を喜ぶばかりで、 構築である」と、 カが世界に貢献したものは少ない。 「ブッシュ政権の八年間、 世界金融危機のような市場 日米両国が現代世界で何を実現しようとす 11 · 12 そして実現すべきなの 期待を深 ル 玉 たであり、 際的関与、 アフガニスタンをはじめとする破 夕刊) 日米同盟の堅持が問題なの がめた。 藤原帰一・ は、 試 両 このようなグロー 北朝鮮ば 国 みに幾つかを挙げるなら 日米同盟 日米・ 首 不要な戦 脳 拡散阻 か、 の目 一破綻を阻止するた 東大教授 かり とるべき政 たほ 民主党政 課題の 0) 日本政 堅 争によっ 岸 かに、 世 かイランに 一界ではど 痔 同 設定に の論 -バルな 民主党 問盟によ がだけに な権への アメ では 策を 府は 7

囲 龍夫= ヤ ナリスト)

在京民放TV、 中間決算

Т BSは連結公表以来初の最終赤字

に転落した。 から連結決算の 厳しいもので、 -九月期 十一月、 の中間決算が発表されたが、その内容は 在京民放テレビ局 5社の二〇〇九年四 TBSホールディングスは、 公表を始めて以来、 全社とも減収という業績結果にな 初の最終赤字 〇〇年

三億円 利益、 営業利益 九千万円の赤字。 3%減)、 ディングスが売上高千七百五十七億円 ア・ホ 東京は売上高五百二十二 売り上げ順に在京民放テレビ局の売上 営業利益二十九億円 $\widehat{12}$ 0 干五 ールディングスが売上高二千八百七億円 千百二十五億円 損益を見てみると、 純損益三十億円。 ・4%減)、 ・5%減)、 億円 純損益六十四 日本テレビが売上高千四百四 4%減)、 5 0 6 営業利益二十七億円 営業利益八十二億円 二億円 (70・0%減)、 10 · 1 %減)、 純損 次いでTBSホー トップのフジ・メデ 0 [億円。 %增 12 5 % 益十億円。 テレビ朝 1.5% 純損益十 高 営業利 純損 78 テレ 5 H + 益 ル

億円であった。

る。 さでもあった。 り、また、その回復も他の広告媒体よりは早 響を受け、 たる原因とされる。 されてきた。それがテレビの広告媒体としての強 の影響を他の広告媒体より遅く受ける傾向 は、その普及率と媒体価値の高さから、 のいわゆる四マス媒体は、 みの影響を受けての広告出稿量の低下が、 のリーマン・ショックを契機とした景気の落ち込 今回の 広告費はどうしても景気に左右されるものであ とはいっても四マス媒体の中でもテレビ広告 早くからささやかれてきた。 中間 軒並み広告売り上げを落としている。 決算の数字が厳しいものになること 新聞、 この景気冷え込みの影 ラジオ、 昨年の テレビ、 景気悪化 秋の米国 その主 にがあ いと

Ŕ なっても、 る地上民放テレビ局のビジネスモデル く変化を遂げつつあり、 落ち込みは景気の悪化がきっかけであるにして 告出稿を打ち切った広告主が、 を訴えるテレビ関係者が多い。 レビに戻さないとみている。 、が見えてきているとの指摘である。 ところが、今回の景気悪化においては、 テレビというメディアを取り巻く環境が大き これまでのように簡単に広告出稿をテ 広告収入を主な財源とす 今回のテレビ広告の 景気悪化により広 景気が回復基調に 自 1体に、 危機感 陰

存のビジネスモデルへの不安

n

否定的に論じた書籍が多数発行されている。 かにこのところ、 新聞・ テレビの未来につ

て、

日号が 絶滅危機」といった特集を組んでい 雑誌でも、 みると、 で』(NTT出版) レビが消える日』(レビ消滅』 メディア激震~グロー 例えば、 東洋経済』一月三十一日号が「 「テレビ・ 佐々木俊尚氏 『ニューズウィーク日本版』九月十六 最近目に付い 新聞陥落」という特集を、 (集英社新書)、 などがある。 バル化とIT革命のなか たこの手の書籍を 2 0 1 走夫氏の また、 新聞 る。 ビジネス 新 郎 聞 聞 氏の ・テ 週

にも、 雑誌で特集がたびたび組まれるのは、 らにほかならない。 性に疑問を抱く読者が少なからず存在しているか い。このような書籍が出版され、 ここに挙げたのは、 既存のメディアビジネスに対して、 関連するテーマを扱った書籍 ごく一 部であり、 また、 取りも Þ その ビジネス 雑 ح 誌 0) 将来 直さ は ほ

送のシェアが相対的に低下し、 において、 画配信も一般化した。 という言葉に象徴されるように、 る提供の機会が急増しつつある。 展によってより一層加速し、 に本格化した多メディア化は、 テレビ放送に関して言えば、 それまで圧倒的であった地上テレビ放 私たちが動画に接する機会 「通信と放送の融合 他 デジタル ウェブ上 九 <u>つ</u> 九〇年 メディ 技 上での動 が術の発 アによ 伅

る調査結果が多 ビ視聴時間は、 テレビ視聴に関 ほ する調査を見ると、 に横ばいで推移しているとす ただし、 世代別に見ると、 H 本 人 0)

推移しているのである。 者のテレビ視聴時間が減少。 的には、若者のテレビ離れを高齢者の増 少子高齢 していることが分かる。 化」に進んでいることもあり、 テレビの平均 接触時 日 '間量は横ばいで ビ 本社会全体が 視聴者の 加が吸収 データ 平均

方が強まっているのである。 ア環境の変化などにより、 体セールスをする際の説得材料となるが、 やすい若者層の接触率が高 広告メディアとしては、 若年層に訴求し得なくなってきているとの見 購買行 テレビ広告が以前 いことが広告主に媒 動 の引き金とな メディ ほ

新の方が、定期的にテレビ広告を打つよりははる ングデータとなる。 0) るのである。 かに安くつく。 宣伝を含む企業からのメッセージを直接提供でき レビといった広告メディアを介さなくても、 かけることが可能となった。 .関するデータを蓄積しやす データは、 広告主が自らのウェブサイトを活用 直接、 広告主にとっては貴重なマーケティ 自社のホームページの立ち上げや更 加えて、 消費者に企業メッセージを訴え アクセスしてきた消費者 広告会社や新聞・テ もちろんこれら 商 品 す

るため れるとは限らない。 のホームペー たからといって、 しかし、 0 仕 掛 広告主が自らの け が必要となる。 ジに接触 ターゲットとする消費者が自 その ï マッ ホームページを立ち上 かつ、 チングを実現させ 現時点で、 関心を持って その呼

> とする既存の広告媒体ということになろう。 び 水として最も有効なのは、 テレビ広告をはじ め

存在であることには変わりがない。 に大きく依存した地上民放テレビ局の経営の在り るのが実情である。その意味において、 が広告料金の具体的な交渉過程に影響を与えて 下させていることは確かであり、 環境の変化が、テレビ広告の訴求力を相対的に低 る。その状況がしばらく続くとみている者は多い。 きさにおいて、 普及率が九割以上あることから、 訴求力ということでは、 方に対する危機感が高まっているのである。 ただし、インターネットの普及など、メディア 特に四マス媒体の中でも、 代わるものがないのが実情であ テレビ広告は抜きんでた 不特定の消費者へ このような変化 その到達力の大 家庭のテレ 広告収入 ビ 0)

広告に代わるビジネスモデルはあるか

り、 年、 は、 事業者が手をこまねいていたわけではない。近 延長線上には、 放送をCS放送で行っているところも多い。 のCS放送と連動して地上波で放送した番組の再 放送外収入の確保は早くから行われてきた。 も着手しているが、 例えば、 もちろんこのような状況に関して、 番組 ここ数年にわたり、在京民放テレビ局各社 この放送外収入に積極的に取り組んできた。 特に叫ばれてきたのが放送外収入の確保であ の映画化など、 番組のDVD化、 番組のウェブでの有料配信などに こちらはまだ事業として採覚 番組連動型の事業による 番組関連グッズの販 既存の民放 傘下 その

売、

合うまでには至っていないとされ

映画制作がある一 イ」など、ヒット作も多い。 IES」 「おくりびと」、 フジテレ 「ごくせん」「20世紀少年」、 した取り くとも、 績を上げている。 社内の映像コンテンツの 組みも増えてきている。 映画制作に力を入れ、 方で、 映画においては、 番組とは直接かかわらな T B S の このところ在京民 ビ 制作能力を生 日 0) 組連 本テレビの R O O アマ なり 動型 ル 0 K

陣の見識が問われることになる。 事業へと事業自体の軸足を移すの されるのは、本業たる放送事業を支える収入源と 事業と直接的にかかわりのない して事業参入を果たすのか、それとも、 その端的な事例であろう。 合施設「赤坂サカス」による不動産事業の 社社屋のある赤坂再開発に伴いオープンさせた複 参入し、収入を確保するケースも増えてきた。 他方において、不動産業など、 もちろん、 事業にも積 かである。 本業である そこで注 非放送系 成 功

境の変化、 しいかじ取りを迫られ である。 ぎに最も影響を受けそうなのは、 裕のある在京民放各局だからできることでもあ しかし、この放送外収入への投資は、 既存の民放テレビ局のビジネスモデル 口 営環境の変化に対 カル民放局こそが、このメ ている。 応し 口 l たより一 カル ディ 財 民放局 の揺ら 源 ア環 13 余

音 宏= 智大学教授

新聞 Š 市場開放論議に 中 聞 刊

聞報 と評価する声も聞かれる。 初めて。 む声が聞かれる一方で、 中 メディア専門紙の役割を担ってきた『中華新 :経営不 た。 玉 時はそれなりの 新 全国規模で発行される新聞としては 振のため、 工 その訳は 八月二十一日付を最後 「廃刊してよかっ 権威もあり、 中心となって設 消失を惜 た

代末に改称)。 紙として創刊 紙は一九九三年五月、 発行主体は中華新聞報社。 (原名 『中華新聞信息報』、 新聞工作者協会の機関 九〇年

するシンポジウムや報道を展開。 8 研究部門、 送局、ケーブルテレビ、 め、一時は業界専門紙としてそれなりの声望を集 アに奉仕する」をモットーに、 た。とりわ メディアに立脚し、メディアを報じ、メディ 広東省の『南方都市報』が当局とのあつれき 自報道を展開していたとき、これを支援 れたと思い出を語 け二〇〇三年、 業の宣伝広告部門などに販路を求 ネット媒体、 SARS問題発生 全国の新聞社、放 ている。 同 紙関係者は大 教育部門、

告集稿も ピー 順 調だっ 約十万部まで部数を伸 それが二〇〇六

> 5 事態が 経営上 の要請で某企業と資本提携したころ

この契約者に与えるという仕組みに変えた。 収入を納めさせる代わりに、 負あるいは特定企業請負にして、 になり、 業は別刷りの編集・発行方針にまで口を挟むよう 行するようになった。すると、このパートナー企 ースにまで広げ、それぞれの いたのに、 もともとメディア業界に関する報道に専念して 最終的には、この別刷りの作成を個人請 報道対象を一 新聞社が記者証 「別刷り特集」を発 新聞社に一定の 経済ニュ を、

び新聞社解散の道を選び、約五十人の社員は、 離れていった。揚げ句、今年八月末には山西省 り、記事のレベルも瞬く間に低下して、 済的補償を約した上で解雇した。 を探すなど延命策を模索したが、 で、 せたのだが、新聞の位置付けがはっきりしなくな 一時的に営業収入は増え、 所管団体の新聞工作者協会は、 同紙記者をかたったゆすり事件まで起こる。 コストダウンも果た 新たな投資企業 結局は廃刊およ 愛読者は 経

実は少なくない、といわれる。 に陥って赤字を垂れ流しつつ存続している新聞は ところで、『中華新聞報』のように、 経営困 難

は千九百四 後者の理 十三の 由 には少々説明が要る。 新聞があるが、 政府は新創刊 現在、 中国に を負いたくないから。

もう一つ

は、

当該

新聞 な責任

0

が

高く売れる可能性があるから。

理由は二つ。一つは、

所管団体が最終的

いは別の新聞はけ穴はある。新 て、 認めて 管団体は、 し、この発行を継続する名目で「題号」を買 題号」を維持しようとする。 実質的に、 だから、 「買い手」 経営の思わしくない新聞社やその 新聞発行に興味のある事業者、 新たな新聞に改造してしまえばよ 総量規制だ。 休刊・停刊しそうな新聞 が現れることを 期 どこにも抜 を探 所

とは評価できる。この決定は、 た評価が出てくるわけだ。 あった」 でいる他の新聞社や上部団体の目を覚ます効果 をあきらめて、『中華新聞報』 意の固さをくんで 作者協会は、 真の理由はこれだ。そうであればこそ、 するよう促しているが、 政府は、 (曹鵬・ 採算の合わない新聞には市場 政府の不採算紙の市場退出方針 経済日報 『死者をよみがえらせる夢想』 それがなかなか進まな 研究部副主 の廃刊を決めたこ 様子見を決め込ん 任)とい から の決

む者が新聞を発行できるような市場開放策が必要 だ」と陳力丹・中国 革を深化させるには、 著しい不均衡もまた存在する。 しかし、「中国の新聞市場は 人民大学新聞学院教授は語 市場退出促進だけでなく望 新聞発行体制の改 確 大き

るか、焼け石に水にとどまるか。 中華 新聞 報 0) 廃 刊 は その 議 論の び 水とな 中 国報

休原 正博 日 本新聞協会審査室長)

メディア展望総目次 (平成 $2\overline{1}$

月 (第五六四

通信社の先輩が語る「私の体験記」② 成申請②台湾大手の 歴史的勝利に社会の変化 NHK、オンデマンドサービス開始 破綻と深まる危機【プレスウオッチン グ】軍縮への潮流強まる【放送時評】 オバマ新大統領と米国の行方 【海外情報】スウェーデン最大紙が助 水素」めぐり新たな資源戦争 【メディア談話室】トリビューン社信社の先輩が語る「私の体験記」② 増山榮太郎 『中国時報』が身 増田 藤田 会田 弘継 博司 亜

月 (第五六五号)

平成20年10大ニュース るルポ【プレスウオッチング】「年越 混迷深める韓国経済 査へ②米、DTV移行延の動き メディアの価値評価めぐり論議【海外 マスメディア関連の裁判を見る(40) 通信社の先輩が語る「私の体験記」② 悲観論広がる09年の世界経済 情報】オランダ政府、国内紙保護で調 し派遣村」が投じた一石【放送時評】 【メディア談話室】仮名が多用され 佐藤 梅本 角田 中澤 卓 逸士 郎 孝之

Ξ 月

タル化へカウントダウン③大幅に変わ マスメディア関連の裁判を見る(41) 勢いづく郵貯民営化見直し論 国新聞業界10重大ニュース②米、デジ にす』を点検する【放送時評】動きだ 過疎【プレスウオッチング】『あらた 通信社の先輩が語る「私の体験記」② したNHK新体制 る独新聞勢力圏 東和 【メディア談話室】地域報道と情報 平の行方を探る 【海外情報】①7中 伊 儀藤 間 佐藤 英雄 佐々木 坦 一馬

四 月 (第五六七号

懇談 目立ってきた英ニュース媒体の米進出 BBCが放映拒否で非難の的に 通信社の先輩が語る「私の体験記」② 第1回「メディアに関する全国世論調査」(上) 現場の環境・体質改善を期待【海外情 界不況下の日本企業再生を探る 【メディア談話室】政府高官と記者 【書評】原寿雄著 ①仏著名夕刊紙がロシア資本の手 【プレスウオッチング】アフガン 泥沼化を危惧 【放送時評】制作 『ジャー 佐藤 小林 佐藤 前田 河 ナリズム 成文 恭子 仁志 睦

(第五六六号

栗原務 とマスメディアの地位を奪うもの』~

(第五六八号 跡・アメリカの思想家たち』~蓮見 退出が論点に【書評】会田弘継著

五

第1回「メディアに関する全国世論調査」(下) ーケティングプラットフォーム~広告 成るか【書評】湯川鶴章著 の動き③米の地デジ化、3度目の正直 に②中国新聞業界、紙代高騰で値上げ 情報】①蘭「PCM」系全紙を支配下 星放送事業、再編の動き活発化 取材」【プレスウオッチング】政府の TV報道に新たな動き(1) 「文書不開示」で提訴【放送時評】衛 マスメディア関連の裁判を見る(42) 【メディア談話室】相次ぐ「ずさん 鈴木 前田 『次世代マ 海外 弘貴 英雄

六 月 (第五六九号

題 通信社の先輩が語る「私の体験記」② 深刻な打撃受ける米ジャーナリズム 雑誌よ、甦れ(上) 日本版オーマイニュース閉鎖の裏側 動きだしたオバマ米新政権 聞 グ】「小沢問題」と報道の責任【放送 化」と政府の役割【プレスウオッチン 小沢事件めぐる暗闘を見る 【メディア談話室】新聞の「再活性 評】地デジ、周知のための広報が課 【海外情報】①オンライン専門新 損失の可能性②中国で新聞の市場 菱木 橋本 平井 沢井 増山榮太郎 文 久 夫 志 俊光 一 美 晃

月 (第五七〇号)

観③中国の地方紙に2つの脅威【書 告のリング②ニュース報道の行方を楽 TV報道に新たな動き(2) 米中露3大国の生存度を探る が消える日』~前田耕 評】河内孝著『新聞社』、 報】①オーストリアにFペーパーと広 率に代わる評価指標求める声【海外情 ない政府高官のウソ【放送時評】視聴 報道批判【プレスウオッチング】許せ 情報津波」時代のジャーナリズムを考える 新聞再生』、 |題抱えスタートした裁判員制度 【メディア談話室】民主第三者委の 猪熊建夫著 新聞・ 鈴木 高橋 小関 畑仲哲雄 T

月 (第五七一号

活発化 時評】通信・放送の法体系整備の動き 通信社の先輩が語る「私の体験記」② オバマの「核廃絶」と唯 島・長崎原爆の「道義的責任」【放送 府のうそ【プレスウオッチング】広 現実味帯びる政権交代 マスメディア関連の裁判をみる(4) 【メディア談話室】核密約報道と政 【海外情報】①英下院議員の 一過酷だったチベット再訪 一被爆国の立場 増山榮太郎 信太 石井

九 月(第五七二号

TVジャーナリズムに新たな動き(3) 映画に期待する米ジャーナリスト教育 ガーディアンとニューズ社対決の構図 情報の国際的不均衡を考える(上 経営改善に向け対策急ぐ③総部数は 問題で勧告【海外情報】①独新聞グル どこへ行く』~中屋祐司 時評】日テレ「バンキシャ」虚偽報道 ポスト金正日へ焦る北朝鮮 輸出3原則緩和の報告書に驚く【放送 治取材を【プレスウオッチング】武器 プ W A Z 【メディア談話室】より開かれた政 蓮見博昭著『オバマのアメリカは -08年中国の新聞発行 DPAを解約②NYT、 佐藤 鈴木 小林 有山 吉田 弘貴 成文 恭子 輝雄 健 書

- 月(第五七三号)

十一月(第五七四号

2・45%減【書評】松尾文夫著『オバ 報道を分析③中国の新聞総印刷量、 TVジャーナリズムに新たな動き(4) 通信社の先輩が語る「私の体験記」②8 マ大統領がヒロシマに献花する日』~ の合併・統合②米調査機関、 查発表 【海外情報】 評】多チャンネル放送研、 ツ場ダム」工事中止の衝撃【放送時 マスメディア関連の裁判をみる(4) 小関哲哉 メディア【プレスウオッチング】「八 審取り消し、通信社機能に理解―東京高裁 【メディア談話室】 開かれた会見と 』 ①欧州で進む新聞 09年実態調 佐藤 鈴木 佐藤 三土 景気後退 英雄 弘貴 信行 正司

十二月号 (第五七五号)

前田耕一 (プレスウオッチング) 「日米クラブ 【プレスウオッチング] 「日米の流れ②加速する米紙の販売不振③ (海外情報) ①オンライン新聞に有料は不V、全5社とも減収―9月中間期法 (本) 「中華新聞報」の廃刊 【書の記」再構築の道 【放送時評】在京民の流れ②加速する米紙の販売不振③

\Diamond

◎偲ぶ会

続いてあいさつに立った山内同盟育員で黙とうした。 員で黙とうした。 で黙とうした。 この一年間の物故者は十五人、開会

成会理事長・同盟クラブ会長は岩永、続いてあいさつに立った山内同盟育

この一年間の物故者は次の通り(敬称 「ほかの業界と同様に通信社も苦しい ディア界の合理化の産物という側面も ある。通信社の存在意義が見直される 局面もありそうだ」と述べた。 この後、長谷川新聞通信調査会理事 この後、長谷川新聞通信調査会理事 この発声で献杯し、懇親会に移った。

北雄士
北雄士
北雄士
北雄士



遺影を背に岩永、古野両元同盟通信社長ご遺族と長谷川、山内両理事長

◎第52回共同通信社友会総会

認された。総会・懇親会には約四百五 階の東海倶楽部で開かれ、平成二十一 十人の会員が参加した。 友会役員の新任、再任、退任などが承 東京都港区の霞が関ビル三十五 |回共同通信社友会総会が十一月 会長、副会長ら一部社

副会長があいさつ。 立・黙とうして追悼。続いて宮島光男 員三十五人を紹介、 総会は石川聰社長ら共同通信役員も 午後三時半開会。冒頭、 出席者全員が起 、物故会

さつした。続いて、小田靖之会長の退 員を代表して喜寿の中西実さんがあい 三百七十六人(女性八十四人)となっ 間に八十八人が入会し、会員総数は千 提案が承認された。 さんの副会長就任など役員一部交代の 任と宮島副会長の会長就任、 た。長寿会員六十七人を紹介、長寿会 一十一年度会計報告を承認。この一年 次期繰越金を含む総額一千万余円 国分俊英

多賀男、太田松男、中川艶子、服部国 ース活動、共同グループの事業展開、 また、石川社長がこの一年間のニュ 長寿会員は次の通り(敬称略) (十人)=中野徳治郎、佐々木 契約社の動向等を報告した。 岡田良治、 蔵田学人、

清水金次郎、

本善弘、小林勲、横田景子、立川恵郎、横内義則、栗本朗、松倉完次、山 野勝雄、佐々木謙一、古沢襄、木谷隆 孝、寺尾浩、後藤重幸、 田中正美、中西実、吉田勲、 城腰清、樋口孝、酒井富男、三ツ野充 川隼人、稲村啓、平見登美子、福原亨 治、加藤武司、上田融、門馬義弘、石 常勝、井上千町、山本武、 一、敷田英樹、大友誠一、滝村三郎、 一、立崎磯夫、出口四三司、永嶋進、 石岡英夫、渡辺六三郎、 喜寿 (五十七人) = 上農光明、 笠原三郎、 前川桂三 田中弘一、西川弘康、 加藤智子、 杉山和俊、 太田誠一郎、浜田啓 竹内誠一良、 藤原賢助、水 三好貞夫、武 清水健一 伊牟田重 佐藤貞 下岸豊 中川

報

子(いくこ)さん。 連雀3の37の33の501。 日死去、72歳。自宅は東京都三鷹市下 常勤監查役、元共同通信社国際局長、 聞通信調査会理事、元㈱共同通信会館 元共同通信社ロンドン支局長)11月15 江口 浩氏(えぐち・ひろし= 喪主は妻郁

編集局社会部長)11月13日死去、86 通信社特信局文化部長、 自宅は東京都渋谷区猿楽町14 **英夫氏**(でん・ひでお=元共同 元共同通信社 の 28

3 0 4 ° 喪主は妻圭子

乙舳町12の16。 13日死去、94歳。 元同盟通信社 色 義忠氏 (映画部)

◎講演会

だった。 講師は共同通信社政治部次長の久江雅 信社ライブラリーで講演会を開いた。 月二十七日、 (財) 新聞通信調査会と同盟クラブは十 「動きだした鳩山外交」 東京都港区虎ノ門の通

寄贈の書籍 39

大澤 香氏から

- 新聞と大衆(K・マーティン)
- 朝日新聞の自画像 鱒書房) (荒 .垣秀雄
- アーニイ・パイル (瀧口修造訳、青磁社) 最 後 0)

啓明氏から

『悔い無き八十八年~マイペ スの人生双六』(内田啓明著、

新規購入した。 財新聞通信調査会は次の書籍◎書籍購入のお知らせ

、285≦、税別1700▽『メディア激震』(古賀 円 純

î いこ さ

編集後記

浩さ

(いっしき・よしただ 自宅は横浜市金沢区 社員) 9月

▽新聞通信調査会理事の江口

続いた 事業に多大の貢献をされ、 ていただきました。 んが急逝されました。 司会役として終始議論をリー 「通信社問題研究座談会」 当調査会の出版 特に十一回 で

司会者ぶりを発揮されていました。 がスタート、 六月から「対外情報発信研究座談会」 来―』の中心部分で、今年五月に刊行 路に立つ通信社―その過去・現在・未 したばかりでした。これを受ける形で ▽その結果を集大成したの 引き続きお元気な姿で名 が

です。 報でした。ご冥福をお祈りするばかり の現状と課題」に踏み込んだ矢先の悲 を求めて、 しく問われている通信社のあるべき姿 ▽ニューメディアの登場などで厳 合掌。 いよいよ本丸の「対外発信

定価一五〇円 一年分一五〇〇円 **〒** 東京都港区虎ノ門一 財団法人新聞通信調査

(〇三) 三五九三—一〇八一(代) (晩翠ビル四階)

振替口座〇〇一二〇―四―七三四六七番

印

刷

©新聞通信調査会2009



純一郎 著 (NTT出版=IIIIOO円

税別

メディア激電

新聞界には同業者や身内のことを書かないとあり、一つのタブーがある。松本サリン事件のいう、一つのタブーがある。松本サリン事件のいう、一つのタブーがある。松本サリン事件の出版され、経済誌や週刊誌なども特集を組む。世界に冠たる新聞大国ニッポンの前途はどうない。ところが今日、そのタブーは破られた。世界に冠たる新聞大国ニッポンの前途はどうないと、

このような状況下で、また一冊の内幕本が出た。「メディア激震」という物騒な標題であり、ちとは異なる。本書は三つの柱から構成され、ちとは異なる。本書は三つの柱から構成され、ちとは異なる。本書は三つの柱から構成され、は国際通信社の栄枯盛衰、第三はジャーナリズムとメディアの将来についてである。まず第一の柱では、数多くの類書と同様、ネット革命による読者の新聞離れと経済不況による広告収入の減少が今日の不況の直接的原因で、既に激震の前兆現象として赤字決算、リストラ、夕刊廃止、印刷・販売提携、ネットへのトラ、夕刊廃止、印刷・販売提携、ネットへの下っ、夕刊廃止、印刷・販売提携、ネットへの上さいで、既に激震の前兆現象として赤字決算、リスの大学が、震度七~八の倒産や合併がいつ起進出を挙げ、震度七~八の倒産や合併がいつ起進出を挙げ、震度七~八の倒産や合併がいつ起きにより、

支属の手厚い新聞保護があるからで、公正取引る官の手厚い新聞保護があるからで、公正取引る官の手厚い新聞保護が外されると、 の導入」である。仮に官の保護が外されると、 の導入」である。仮に官の保護が外されると、 ではなく構造的なもの」ととらえ、繁栄をもた ではなく構造的なもの」ととらえ、繁栄をもた らしてきた日本製ビジネスモデルはもはや崩壊 す前という。

第二の柱、国際通信社の興亡では、過去、現 第二の柱、国際通信社の興亡では、過去、現 がある。一九五〇~六〇年代初頭の通信社の内 である。一九五〇~六〇年代初頭の通信社の内 である。一九五〇~六〇年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 である。一九五〇十八百年代初頭の通信社の内 でいた。

価、為替相場、経済情報が分かる新サービスがった。キーをたたけば、端末画面で瞬時に株躍を遂げたのは、経済情報の端末サービスであるのロイターが息を吹き返し、様変わりの飛

リズムは失われる、けば経営は苦しく、 の合併であり、世界中のメディアがあっと驚れる。そこでロイターが打った手はトムソンと 関係に行き着く。 盛衰を見るにつけ、ジャーナリズムに軸足を置 く、変わり身の早さであった。ロイター よりネットでも経済情報はいち早く手に入れら に使い勝手のよい、データベースサービスを始 も長続きはしなかった。 ロイターは苦しくなる。そこへIT革命に なヒットとなる。 功利主義に走ればジャー つまり「パンかペン ブルームバーグが顧客 大もうけ のこの ナ

目線で報道) とメディアの将来について、まずネット社会がさて、本書の最後の柱であるジャーナリズム 力が必要と結ぶ。しかし、メディア激震への対記事やスター記者の育成、読者を大事にする努 ら離れていった」との認識に立ち、うならせる聞から離れていったのではなく、新聞が読者か から報道する)や建物ジャーナリズム(役所なる人が多い。象牙の塔ジャーナリズム(高い所 本来の任務である権力監視機能の弱体化を恐れメ、スポーツが圧倒的に多く、ジャーナリズム は残る。応にこうした〝王道〞だけで間に合うの ど権力機構に取り込まれた報道)では権力の監 大きく広がり、そのアクセス傾向 また新聞の将来について、本書は の育成が必要ではないかという。 シビックジャーナリズム(市民 は、エンタ 「読者が新 か疑 0

田 耕一=新聞通信調査会顧問

前